京城日報

本紙定價　一部金參錢　一ケ月金七拾五錢　三ケ月前金貳圓拾錢　六ケ月同四圓貳拾錢　一ケ年同八圓
廣告料金　五號十五字詰一行金壹圓五拾錢　特別二號七字詰同金二圓　四號九字詰同一圓二十錢　六號十二字詰金五十錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　編輯局五〇六番　營業局三六二番

十月二十日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨憲法改正可決
宣戰講和と議會の同意

某所着電＝瑞西來電に依れば獨逸聯邦會議は十五日の會議に於て帝國憲法第十一條第二項の一第三項の二を左の如く改正可決せり（東京特電）

一、聯邦の領土及び海岸が攻撃せられたる場合を除く外宣戰を爲すには帝國議會及び聯邦議會の同意あるを要す
二、講和條約及び帝國の立法機關の協贊を要する事項に關する條約は聯邦議會及び帝國議會の同意を必要とす

◇獨逸新聞の論調
對米大統領回答兩黨派態度

某所着電＝米大統領ウイルソン氏の回答に關する獨逸新聞の論調を見るに保守黨側は之を以て獨逸に對する侮辱なりとし擧國一致最後迄戰するの外なしと云ひ居れるも議會多數派は回答に現はれたる要求の大なるに失望しつゝも猶妥協に依りて平和に達する途を見出さん事を熱望し居る者多し（東京特電）

◇獨社會黨の宣言
皇帝の退位は穩當の處置

倫敦來電＝十五日獨逸社會黨は獨逸皇帝の退位を穩當なる處置なりと決議し又退位を躊躇し戰爭を繼續せば一切の責任は皇帝自ら是を負擔せざるべからずと宣言せり（東京特電）

◇伯林示威運動
ホーヘンツオルレン家攻撃

瑞西來電＝確かなる筋よりの電報に依れば去る十六日伯林に於てホーヘンツオルレン家攻撃の猛烈なる示威運動勃發しウンテルデンリンデン街皇宮前等に群集したる民衆はホーヘンツオルレン家より出でたる帝王の銅像を破壞し續いて西班牙公使館前に押し寄せ『吾等に平和を與へよ吾等は將に餓えんとす、ホーヘンツオルレン家を倒せ』と叫びたり猶ほ伯林政府に一大革新行はれたりとの報道倫敦より傳へられたり（東京特電）

◇獨の無條件降服
は當然の成行＝聯合國側の觀測

聯合國側の有らゆる觀測を綜合するに獨逸の無條件降服は當然の成行にして皇帝退位し主戰論反對者の政府を組織し形勢の一轉機を劃するに非ざれば遂に獨逸の崩壞は免れざるべし而して尚ほ聯合國側の講和條件は左の如くなるべし（東京特電）

一、獨逸軍隊は全戰線に於て武裝を解除し獨逸國境内に撤退する事
二、獨逸の海軍は英佛米に供託すること
三、獨逸政府は其人物及び政策に就き名實共に聯合國の承認を經たる上組織せられざるべからざること

◇聯合國態度强硬
獨帝退位は實現せん

獨逸政府は獨逸國民の安全を保護せらるべきを條件として大統領ウイルソン氏の條件を全部承認したりとの情報は其筋にも達したるが其内容に至つては依然漠然たるものあり是を擅意に解釋するも彼我の主張の間には相當の距離あり今直ちに米國並に聯合國の讓歩を動かすに足らざるは勿論ならが獨逸にして此際何等かの方法に依りて其面目を立て講和を成立せしめんと欲しつゝあるも聯合國側はより以上態度强硬にして米國上院議員ロッヂ氏の如き對獨交渉打切りの提議を爲す等其意氣込頗る猛烈なり而して獨逸は既に軍閥派の沒落に依りて小康を保ちつゝありと雖も軍隊統率者は公然戰爭繼續説を發表しつゝあり若し此儘にして荏苒日を經るに於ては國内社會黨の反感益熾烈となり前次革命氣分を醸成し遂に皇帝退位の餘儀無き狀態となるべく信ずべき筋への報道に依れば獨帝の退位は愈確實なりとさへあり是に於てか獨逸は更に自ら降服の一歩を進め政體を民主的に改造したる上再び聯合國側に講和商議の提案を爲すべしと察せらる一方巴里に於ける英佛伊首腦者の外交會議は近く獨逸の最後屈服を豫斷し聯合國側より具體的に提議すべき條件に關し豫め商議を凝さんが爲なりと（東京特電）

◇波蘭王國復歸要求

某所着電＝瑞西電報に依れば在獨逸波蘭領土の波蘭人種の全新聞紙は獨逸に併合せられたる舊波蘭領土の波蘭王國に復歸することを要求せる布告を揭げ右布告には政派の如何を問はず獨逸に於ける波蘭人の政社選擧委員新聞主筆全部の署名あり右布告は獨逸國内に多大の感動を與へたりとフランクフルテル、ツァイング紙は右布告に關し獨逸が來るべき平和會議に於て逢着すべき第一の困難なる旨を述べ國民的危機はアルサス、ローレンに非ずして寧ろ東方國境問題なることを指摘し獨逸は之に依りて數百萬の人口を喪失するを忍ぶこと能はずと云へり（東京特電）

◇墺國内政の危機
墺匈國分離各民族獨立か

某所着電＝墺國外務大臣は十九日匈牙利代表議院外交委員會に於て平和の目前に迫れることを説き墺匈國及び各民族の一致協力を求めたる由なるが一方獨墺の新聞記事に依れば墺國にては同國がウイルソン氏の十四箇條を承諾して以來國内のチェック人其他各民族の自決の聲盛んなるが各民族間には獨立分離を主張する者と其聯邦組織を望む者との二派論爭中なり尚墺國内獨逸人は他民族獨立の場合自分等も獨立の州となりて獨逸に附かんとするの氣勢を示し居る由加之るに匈牙利にても墺國との關係を全く斷ちて獨立となり只君主にハプスブルグ家を戴くに止めんとするの傾向ありノイエ、フライ、プレッセ（墺紙）の如きは墺匈國解體の危險目前に迫れりと嘆じ居れり内閣は墺匈國共最近辭職し目下後任者物色中なるが墺國の如きは平和内閣又は解體準備の清算内閣を主張する（此間原文不明）ありと云ふ（東京特電）

◇墺内閣辭職見合

墺國ラッサレタ内閣の辭職は一時見合せとなれり（フランクフルト電報）

◇土國新内閣成立

某所着電＝土耳其新内閣成立しイゼットパシャ總理兼陸軍大臣となりたり（東京特電）

◇土對墺最後通牒

倫敦來電＝土耳其新首相イゼットパシャ氏は就任に當り墺匈國政府に對し最後通牒を送つて曰く土耳其は軍事的形勢に依り單獨講和を締結せざるべからざるに至れり（東京特電）

◇獨代償汽船引渡

馬德里來電＝當地に於て半官的に發表せらるゝ所に依れば獨逸は自國潜水艇の擊沈せる西班牙船舶の代償として獨逸船舶七隻を西班牙に引渡したり（東京特電）

◇トロツキー首相説

トロツキーはレニンに代りて勞農政府首相となり小露西亞よりヴオロガ方面に進軍しつゝ全軍總指揮官たる可しとの報あり（合同通信社報）

◇和平會と米國

和平促進會と米國公使の平和運動とは連絡ある如く梁士詒一派は米國の援助に依り段祺瑞氏等の主戰派に代りて政權を握らん魂膽あり米公使は亦之れを利用して日本を牽制し出來得べくんば之迄の日支借款をも取消さしむるの擧に出づるやも知る可からずと杞憂する者あり（北京特電）

◇米國の給與
西伯利軍隊に

米國は西伯利軍隊の爲めに靴其他十萬人分を給與し尚食料、彈藥、小銃、大砲、機關銃多數を供給す可しと（紐育電報）

◇五博士講和意見

戶水寛人、寺尾亨、中村進午、高橋作衛、建部遯吾五博士の獨逸講和提議に對する意見は目下寄々研究中なるが已に大體の調査を了し具體的提案を得たるより近々各個人として何等かの機會に於て發表する由（東京特電）

◇勅參復活の議

現内閣は山本内閣時代に於ける勅任參事官と同樣の制度を復活すべく研究中なるが彼の參政官制度とは意味を異にせる純然たる政務官制度なりと傳へらる（東京特電）

◇原首相の板垣伯訪問
板垣伯の要望

原首相は十九日午前九時三十分板垣伯を芝の邸に訪問し約一時間に亘りて時事談を交換せり最初板垣伯より首相を訪問せんとしたるも原氏は斯ては先輩に對する禮を失すべしとて自ら板垣伯を訪問したる次第にて席上伯は首相に向ひ大要左の如き希望を述べたり（東京特電）

今回閣下が大命を拜し政黨内閣を組織せられたるは最も欣快に堪へざる所なり内閣組織匆々にして政友會の抱負を實行するには多少の時日を要すべしと雖も余は先づ閣下に對し政黨内閣の眞價を示さんことを望む而して社會政策の實行を期せられ度きと同時に余は多年の經驗に依りて政務と黨務とを明確に區別せんことを最も切に閣下に望む

◇奬勵金支給方法
中西遞信次官談

遞信從業員に給與する奬勵金四十萬圓は左の四種に區別して分配する事となりたり

十分の四　成績良好なる者
十分の四　繁忙手當
十分の一　皆勤手當
十分の一　技術優秀なる者

右の内成績優秀なる者は從來の例子定規に拘泥せず局長の認定に依つて決し一人にして以上全部に該當するものは四袋の奬勵金を得る譯なり尚五區の遞信局管内に對する該奬勵金の分配割合は皆勤手當、成績の三項目は同一割合なるも繁忙手當は例へば東京、大阪の如き事務繁劇の地方と信州、山梨の如き閑散なる地方に由りて區々なる筈なり又一年中の事務繁閑に於ても區別し比較的閑散なる夏季には二十萬圓繁忙なる年末年始には五十萬圓を與ふる考へなり十六日の會議に於て現業員以外の高等官にも相當の手當を出して貰ひ度き希望ありたるも政府の主旨は大體に於て下級現業員のみに與ふる主義なれば局長課長係長の如きは暫く辛抱し貰ふ事にしたり（東京特電）

◇辭令　十九日附左の通り

辭令ありたりと（東京特電）
朝鮮總督府稅關事務官　官同事務官　笹澤徑太郎
免本官專任朝鮮總督府稅關事務官
朝鮮總督府郡守　高義駿

◇小藤博士南

東大教授理學博士小藤文次郎博士は二十日午前六時廿五分安東通過京城に向へり（安東特電）

◇星野少將一行

參謀本部第三部長星野少將の一行四名は二十日午前六時二十五分安東著の上腕車にて鴨綠江の鐵橋を越ね義州より乘車南行せり（安東特電）

◇米大使南下期

米國駐日大使モールス氏の一行は二十日夜行にて南行の旨内報あり（京城特電）

◎米移動關稅
制定乎

現内閣は米價調節の一策として關稅撤廢實行に略決定せる事既電の如くなるが政友會が曩に前内閣當時小路農相より關稅撤廢の交涉ありし際米價暴落の時を慮り之れに對する善後の手段をも講じ撤廢を實行せられたしと答へし事もあり且つ今日に於ても政友會内に於て米穀關稅全廢に反對する熱心なる農民代表の議員も尠からざるに鑑み關稅の撤廢に期限を附し短期間の撤廢に止むるや又は米穀關稅に限り移動關稅の制を採り凶作其他にて米價騰貴の場合は全廢若くは低下し米價暴落の際に於ては或る程度迄之れを引上ぐる事を得る等一に行政命令により必要に應じ上下伸縮自在ならしめ以て米價調節の兩端に利用せんとの方法に關し目下夫々審査中なる由にて多分此移動關稅方式を採用して此際關稅撤廢を實行する事になるべき模樣あり何れ法制局樞密院等にて審議の上決定せらるべきにより早急なる運びには至らざるべし（東京支局）

◎無爵首相の爲め
芝區大祝賀會

東京芝區にては今回政黨内閣の成立と共に區内より無爵の原氏起ちて總理大臣の大任を負ふに至りしを以て區の名譽此上なしとて今回同區々會議員一同發起となり來る十一月三日午前十時より芝公園内丸山下廣場に於て大祝賀會を開催することに決定したり當日は原首相以下各大臣及び次官書記官長副議長内閣書記官長警視總監府知事市内各警察署長等を招待し府側よりは區長及び區會議長以下議員區各學職出席し席上區會議長の挨拶、首相の謝辭あり夫より大宴會を催す筈にて尚公民權所有の區民一同參集し神明、烏森の紅緒萃其の間に斡旋する筈なれば頗る盛況なるべしと（東京支局）

◎外米專賣調查

山本農相は米價調節に關し就中外米管理に關し調查攻究中なりしが抑も米價の騰落は外米輸入に大關係あるもの如く從來外米の輸入年額は約三百萬石内外平均にして大正三四年大隈内閣當時の米價暴落には五百餘萬石の輸入あり本年は昨年の内地米收穫不足の關係上二百萬石内外の輸入に過ぎざるも國内の需用激增の爲め稀有の暴騰を來したるもの、如し果して然らば外米の輸入販賣を政府の專賣とし外國市場に於ける買附等に機宜を誤らざるに於ては米價は常に平準を保ち國民生活の基礎を安固ならしむるを得べし只だ其方法頗る困難なるものあり目下調查研究中の由なるが何れ成案を得るに從ひ各方面の意見をも徴し實行の運びに至るべしと（東京支局）

◎邦商と朝鮮貉皮　（奉天）

奉天に於ける支那際毛皮業者は年々冬季に入れば朝鮮に赴き多額の貉皮を買取し奉天に持ち來り日本輸出業者に販賣するもの尠からず其の買附最中に於ては朝鮮同業者間に甚だ苦痛を感ずる事あり如何となれば支那人の例として一度手を染めたる以上は全部の買占を實行し以て相場を左右せんと企つる事多ければ邦商にして資本に乏しき者は見すく利益ある品と知りつゝ支那商の買占めに委せ手を束ねて傍觀する場合等あり而かも同毛皮は全部日本商人の手に渡りて内地に輸出せらるゝものなれば熱しき競爭の結果突飛なる高値を現出する事等もあり邦商に取りて甚だ不利の點多きを以て二三年前より同業に對し精密なる研究を積みつゝありし奉天某邦商は本年自ら朝鮮に出張同貉皮の買占めを爲すべく目論見あり已に毛皮に深き經驗ある人を得毛皮の佳良なるや否やを鑑定すべき準備等も出來近く朝鮮に向け出發の筈なり若し同計畫にして當を得ば朝鮮貉皮事業は必ずや邦人の手に歸すべく已に拔毛をなしたる皮類の用途等に就きても研究を遂け支那人に對し不覺を取る事はある問題を期しつゝありと（奉天）

◎重石の大家
米國より來らん

今回米國政府より朝鮮に於ける重石米國輸出狀況視察の爲め派遣されたる華盛頓府ゼー、モルガン、クレメンツ氏は當地在住鑛業家ジョン、アール、アーレン氏と同道近く入京の由なるが同氏は諸機械及び重石に關しては世界一の老成家と言はる人なりとモルガン氏の來鮮は單に朝鮮產重石のみならず黑鉛及び滿俺をも米國へ輸出し得る樣助力せんとの意志を有するものにして黑鉛其他の鑛主は此際其の現狀を表示して輸出特許を得るの補助を得る方便宜なるべしと同氏の任務は米國政府より派遣されたる委員にして諸鑛山主及び輸出業者と密接なる關係を設定せんとする使命に在るもの、如く目今東京米國大使館に在りて日米銅鐵交換事件調定に從事中なりと

◎鑛業登錄（自十月七日至同十日）

▲鑛業權設定
金鑛　全羅北道茂朱郡赤裳面　六十一萬四百六十二坪　金益珠　朴圭淳
鐵鑛　平安北道昌城郡新面　二十三萬五百二十四坪　淵尾彦一、沖本光太郎
鐵鑛　江原道江陵郡王溪面　九十六萬一千三百二十七坪　鈴木熊太郎、佐藤五
黑鉛　咸鏡北道鏡城郡鶴南面　一萬一千五百四十坪　慶田利吉
▲鑛業權移轉
金銀鉛鑛　忠清南道青陽郡斜陽面　六十四萬三千八百六十九坪　瀧井寛太郎
江原道三陟郡蘆谷面　十月九日　松本秋津
▲鑛業權消滅
忠清北道沃川郡郡北面安内面　廢業
全羅南道靈岩郡昆二終面昆二始面　廢業
取消
慶尚南道蔚山郡中南面　廢業
平安北道江界郡高山面　同
忠清北道忠州郡東良面　同
慶尚南道河東郡北川面　同
同　同
江原道伊川郡山内面樂壤面　同
▲共同鑛業者脫退
平安南道大同郡栗里面　周禮敏任泓脫退す
慶尚北道迎日郡松羅面清河面　閔台植任意脫退す

◎甘浦近海豐漁

慶尚北道甘浦港は例年の實況に鑑み九月下旬既に漁船多數來集し殷盛の狀を呈すべく豫想せしに之に反し南方東萊郡沿海豐漁なりし爲め漁船の多くは方魚津以南にありしが去る十日以來陽北、陽南沿海に鰯群襲來し爲めに漸次縛り網及び巾著網等も來港するに至り去る十三日は丸六組縛り網一條は八萬尾餘を又慶南三千浦山本の巾著網は一萬八千尾餘を漁獲したるが其前日迄方魚津以南にて大漁ありし爲め運送船なく止むなく何れも全部鹽漬となしたるが前記の如く昨今頗る豐漁なるを以て前月中旬迄一尾七八錢にて取扱はれたるもの昨今契約網の鰯は一尾二錢五厘に下落し普通一尾四錢にて賣買され居る現狀なりと而して目下尚は縛網も數條出入しつゝある爲め甘浦里陸上も漸く殷盛となり料理屋の如きも珍らしく賑ひ始めたる狀況にて去る十四日の如き發動機船五隻帆船十隻縛網六條（一條六隻）内外巾著一條（四隻）流瀨網六十隻其他釣船四隻の入港を見たる程なりと最近同地より情報あり（浦項）

◎鈴木精米所設置

神戸鈴木商店は群山に精米所を新設せむとする意嚮あるやにて目下頻りに其の設立地を物色しつゝあり（群山）

◎馬山の三浦氏

前瑞西公使たりし三浦彌五郎氏は目下馬山の自邸に滯在中なるが之を機とし氏は同地の主なる官民數十名を十八日午後六時より望月樓に招待し盛宴を張りたり

人事消息

▲賀田金三郎氏　十八日朝退京
▲田中昌司氏　十九日夜退京
▲横瀬軍之佐氏　同上
▲原虎太郎氏　同上
▲阪本金彌氏　同上
▲阪本鉎州郎氏　同上
▲武藤興作氏　同上

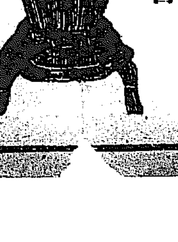
茶前酒後

◆レニン復、狙擊せられたりと傳へらる。殆んど知るに由なし。即ちペンザ以北の交通、通信の杜絶せるのみならず。一新聞の如き、味方の水兵浦鹽に上陸し、聯合軍を包圍しつゝあり等、誠しやかに吹聽せる程同派は事實の凡てを隱蔽しつゝあれば也。乍併同派が、近來甚だしき不振に陷れるは、事實なるに似たり。彼等の元老役たるクルイレンコや、ムラウイエフ、コロンタイ等が、何れも失脚し、彼等の所謂ソウイエットの本城は、今やレニンと、トロッキー唯二人に依りて、死守せられ居るもの、如く、而も兩者亦、前日の如からず事々物々其意見を異にし居れるに似たり。同派の末路も、蓋し近きにあるべし。

◆過般莫斯科に於て、過激派の中央委員開會に際し、レニンは目下該國の難局は、二個の出口を有する丈也。即ち一は右黨社會黨と提携すべき事、二は聯合國側に應援を求むる事是也と述べ、莫斯科及び中央諸縣は、皆敵の爲に包圍されて居れりと說明せり。此の時トロッキーは、併しながら吾人が逃げ出すとするも、橋と云ふ橋は、既に全然破壞し盡され居れり、最早此儘茲に死守するより、他に策なし。とレニンに反對し、同會委員の多數は、トロッキーに贊成し、レニン遂に敗れたる等は、僅に其一例に過ぎざるも、同派の悲觀と共に、レニン亦失脚の域にあるに似たり。斯て彼等は、自滅より他に、最早何物も有せざるべし。

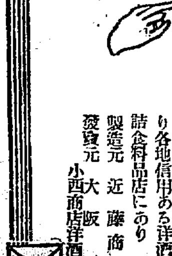
◆孟子梁の惠王に謁するや、王は叟の遠路來りたるは、我國に利益を圖らんが爲めなるべしと問へり孟子襟を正して曰く、王は何故に利益を云ふや、國を治むるの道は唯仁義あるのみと。劈頭一針を加へたるは痛快也。支那の政治家が仁義を後にし、利益を先にするは今尚孟子の時代と同樣也。豹變保身、表裏反覆の自由自在は、全く皆利益の打算を基本とす。支那の商人は政治家の如く、政治家の商人に似たるは、何時迄も支那南北の分立、政權爭奪の盛行する所以なるべし。

銀鉛鑛　亞鉛鑛　鑛石買入
御賣鑛者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候
京城黃金町二丁目百四十八番地　商品陳列館の下
電話二四六四番
信託業　鑛業　明星商會

ストーブ新荷著
和洋ストーブ
附屬品一式
煙突製作
板硝子
ペイント塗料

京城本町二丁目
岩見商店
電話貳一叁番

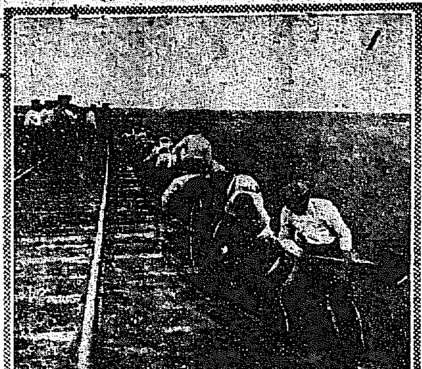
勸業債券　貯蓄債券　帝國公債　特別活用法
◎本社は勸業債券貯蓄債券及帝國公債の信託を受け他に類なき利殖法に基き最も確實安全に活用し其利益を頒つ絶對唯一の致富法なり
◎本社營業は株式或は米相場の如き投機事業とは全然其性質を異にし刻下商工界の要求せる一般の商品類を最も敏活に取引するにあり
◎本社の營業は堅實を眼目とする故僥倖的巨額の利益配當は不可能なるも然し最低年二割の利益配當金は本社が絶對責任を以て負擔す
◎本社の營業種目は石炭鐵材類機械類、各種鑛石賣買、工業及鑛業經營、特許品製造販賣、船舶賣買及傭借、其他臨時有利事業なり
（詳細說明書御申越次第無代進呈）
債券信託興業社
大阪市北區木幡町六拾壹番地
電話東三三一四番　振替大阪四四四二〇番

平壤小野田セメント會社製
石灰一手販賣
京城古市町
苫米地商店
電話九四一、三一〇八番
振替京城五三三番
(3)


むすめ印
酢の素
御料理にぜひ一瓶なくてはならぬものはむすめ印酢の素なりむすめ印酢の素は本邦に於ける最良の品にして其元祖なり、品質の優秀なる事は夙に世の定評ある各地信用ある洋酒罐詰食料品店にあり
製造元　大阪　近藤商店
發賣元　小西商店洋酒部

物品賣却
山林立木（槇木外雜）壹萬本
薪炭用
所在地　京釜線始興驛より西南程近き場所　運搬持出し共至極便利
右至急賣却す
御希望者は直接御照會被成下度候也
京城府明治町二丁目九十五番地
專賣特許出願中
封筒　秘密袋製造元　妹尾吾
電話百〇七番

大正七年七月一日改正現行



(上)工兵隊の鐵道修築(下)擔送輸送隊一行の徒歩出發(金谷從軍記者撮影)

西伯利從軍記

▽敵影を追うて

長蛇の如き馬車の行列

一人の兵が二個の背嚢と銃を持つて十一里の行軍を强行した!!!

敵を追うのも樂ぢやない

從軍記者 金谷眞

ある夜われ等はプレーヤ河畔の一寒村にあつた汽車は破壊されたる橋畔に來て蟲聲喞々たる秋の野に停まつた、白樺の林の其處此處には篝火の灯影に紅帽の日本兵士が見ゆる、橋を仰げば高さ十米突ばかりの橋脚に巨きな枕木を積み重ねて今一時間の後にはわれ等の列車を通すといふ意氣込、鐵道隊の兵士等は九時になつてもまだ夕食を喫べませぬと將校が云ふ、青いアセチリン瓦斯の灯影に見れば

▽此の冷氣に まだ夏服のまゝの薄着で居る、毎度の事ながら鐵道隊の勞苦は普通大抵のものではないと思ふ、翌朝列車はザウエタイヤ驛の四五里前まで到着した、此處でも赤橋梁は破壊されたので、われ等は荷物を携へたまゝ對岸に渡つた、其處で再び列車に乘り暫た上一時間ばかりにしてザウエタイヤ驛に着いた、此の邊の沿道は處々にまた耕作された畑地があつてブラゴエに近い爲か大分人里近くなつたやうな氣分になる、ザ驛はまた相當の村落であつた、停車場で聞くと二日前此處で

▽過激派の兵士が 廿名ばかり捕虜となつた、捕獲した小銃は日露戰爭當時使用したものであつたといふ、驛から更に三里ばかり西進してわれ等は三度橋梁に出會つた、こんどは愈々列車を見捨て、各自に露人の秣積馬車に乘ることになつた、われ等と共に積まれた山田支隊の糧秣も此處で同しく馬車に積まれて蜿蜒長蛇の如き馬車の行列を作つたのであつた、これから一行は鐵道線路に沿うた黑龍江州の路を進んだ、沿道は波状形の丘と平野の大艇

▽滿山の紅葉が 繪も及ばざる眺めであつた、沿道には所々に淋しい村落を見た、畑には燕麥や馬鈴薯の收穫中であつたが廣い原野に比して耕された部分は甚だ少ない、しかしこれまで通過したプレーヤ河以東の寒村に比べると稍人里臭い方であるがそれでも淋しい寒村である、此の附近は黑龍江沿岸の地と異なり移民も多くは逃去つたのであらう、思ふに今から六十三四年前のムラヴイヨーフ、アムールスキー總督の考へでは國境の守備かたく此の方面に多數の露國人を植民する計畫であつたから、可成多くの

▽移民補助費と 貸附金があつたにも拘らず此の方面は不成功に了つたやうである、今日分の通る道も人手が足らぬ爲めか但しは路人さへ見捨たのか一兎に角淋しい一帶の丘と平野つゞきであつた、午後七時馬車は六里の行程を了つてエカテリスラエフカの驛に着いた、十六夜の月は見渡す限りの地平線に躍り出て村の家々は月光に明かであつた、停車場司令官大内歩兵中尉は大分驛隊の中隊長としてハバロフスク以來急追の勞苦を語つた、自分等は九月三日の浦鹽上陸以來十八日まで晝夜兼行で當驛に來た、途中アルハラミドミカンの間の夜行軍では特砲隊と同行したので

▽歩兵は砲兵の 彈藥まで一人が二個の背嚢及び銃器を持つて十一里の行軍を强行した……敵を追うのも隨分苦しいものです……と笑ひつゝ語つた、月は益冴え渡つた、われ等は更に今夜ボチカレオに向つて前進せんとするのである

◎蟻の如く勤勉な日本兵

蝶の樣に氣樂な米國兵

勘察加賣拂說も事實とならん

最近西伯利より歸來せる某氏は語つて曰く露國西伯利政府の財政窮乏は豫想外にて浦鹽の電氣鐵道を擔保として米國より數十萬弗を借り居たる程なれば勘察加州を

▽八十億弗 にて賣り拂ふと云ふも或は事實ならん、イルクツク以東の邦人は冬籠りを控へて米及び食料品缺乏し生活難に苦しみつゝあるがブラゴエ附近は殊に甚だしく約七百名の邦人は其の日の米にも困り對岸なる支那人が密輸入し居れる砂混じりの支那米を爭ひて買入れ

▽辛くも餓 を凌ぎ居る有樣悲慘なり、蔬菜類は絶無の爲め守備隊より少量づゝ分與され浦鹽にて一個十錢の林檎が八十錢の相場なり、我が多の我兵は不眠不休蟻の如く勤勉に冬籠りの準備中なるに米軍は活動寫眞等の娯樂にて

▽蝶の如く 呑氣に生活し居れり、同地附近の過激派は昨今も近く跳梁を極めつゝありと傳へらる、我國は西伯利に於て軍事上世界的の成功を收めたるも外交及び經濟戰は甚だ不振にて米國其他に

▽大成功を 收められつゝあり現在のまゝに放任し置かば戰後彼地に種々の利權を獲得せんとするに當りて活動上不利益尠からざるべし

□文展へ行幸啓 本月下旬頃

天皇皇后兩陛下には本月下旬頃上野公園に於て開催中の第十二回文部省美術展覽會及び日本美術協會へ行幸啓あらせらるゝ趣きにて既に中橋文相並に土方日本美術協會會頭は波多野宮相を經て右行幸啓を奏請中なりといふ

◎王世子 ‖御誕辰日‖

祝宴は御見合せ

二十日は李王世子殿下の御誕辰日に相當せるを以て閔李王職長官は御祝詞言上の爲め東上し同職高等官は『謹んで御誕生日を祝し奉る』旨の祝電を發したりこの日東京に於ては毎年祝宴を擧げらる、例なるも本年は戰時中なるを以て特に是を御見合せ相成りたるやに承はる

◎御大喪繪卷 御下命

故玉田翁の後 雪江畫伯拜命

大正三年五月二十四日昭憲皇太后御大喪儀中東京に於ける御實況御繪卷物は故村瀨玉田畫伯に御用命あり同畫伯畢生の名譽として其後種々研究して下繪を完成したる處不幸にして翁は昨年十月十二日逝去し右御繪卷は其後其儘となり居たりしが宮内省にては數日前更に府下入新井村字新井宿野村雪江畫伯に御下命あり同畫伯は謹んで拜命したるが下繪は全部七卷、一卷の長さ約六間、全部延長約四十二間にして青山御所御出門より葬場殿に至る鹵簿を始め用度品の解剖圖、今上陛下行幸の御光景、各皇族方を始め奉り供奉大官儀盧殿の模樣其他頗る精密を極めたるものとする趣きにて完成の曉は明治天皇御大喪御繪卷物と共に永へに宮中に御保存あらせらるべし(東京)

◎牛脂を爆藥原料に

砲兵工廠で盛んに使用

危險が尠くて爆發力が强い

目下我陸軍砲兵工廠では窒素から爆發藥の原料たる硝酸の製造につき研究の歩を進めて居るが最近に至つて此爆藥の原料として牛の脂を使用する事を發見し盛に製藥して居ると云ふ右に付某消息通は語る『今回の大戰は一種の

▽化學應用戰 と見るべきである獨逸が亞瓦斯を使用したのを始めとして各國共從來何の役にも立たなかつた廢物を利用して必要缺くべからざる軍需品の製作をする樣になつた中にも獨逸や英國が爆藥の一原料として牛の脂を多大に使用する樣になつたのは注目すべき事である獨逸も英國も

▽牛の生産業 が非常に發展し脂を多く取る爲に牛にウント食料を與へて之れを薄暗い室に入れて運動をさせないで置くとうすると脂が非常に增す其上で之れを屠殺して食用や爆發藥の一原料たるグリセリンとするのである牛脂から製造したグリセリンを硝酸其他と化合して爆藥にしたら從來使用して居た魚油などよりは

▽危險が少い し發射して目的地で爆發する時著しい强い力があるので目下獨逸でも英國でも爆彈には皆此の牛脂を使用する樣になり牛の生産能力の增加に努力して居る我國でも從來此牛脂から製する約三百五十萬斤のグリセリンは石鹼の材料にのみ使用されて居たが今回陸軍省では爆發用に供する樣になつた

◎女性の裝甲車

英國から來た

我陸軍の研究に資すべく英國陸軍よりブールス少佐以下士卒三名附添ひ歐洲戰場にて

◇偉功を奏 せる軍用裝甲車一臺十七日午前九時神戸入港の郵船靜岡丸にて到着したり目下英國にて使用せる裝甲車は男性と女性とあり男性は砲兵陣地の攻擊に女性は歩兵部隊の襲擊に使用されつゝあるが今回到着せるは女性にて重量廿六噸長さ卅呎前後左右に各二名宛乘組み

◇各一分間 五百發は發射し得る機關銃を操縦し中央部の者運轉するものなりと近く海路東京砲兵工廠へ送らるべくブールス少佐以下之が操縱方法其他の說明をなすべしと(神戸)

◎米國の輸出

映畫三萬哩

世界各國へ

戰後獨逸や英佛などのフヰルム輸入が杜絶したる爲め、日本の活動寫眞界は困難となつた爲め、米國製フヰルムで持切りの姿となり、中にもチャプリン物の如きは相變らずの人氣だが、最近紐育の銀行家組合の調査に據ると、米國製フヰルムの日本輸出は一昨年の七十八萬一千呎が昨年一躍して二百三十七萬呎に激增し海外輸出總額は一億六千萬呎即ち約三萬哩に達して居たが、先頃戰時禁制品として輸出が制限された爲、本年度の輸出は昨年に比し著しく減退するだらうと云ふ、尙日本製フヰルムの米國輸出は今より五年前六萬九千呎に達した事があつたが其後漸次減少し昨年度は四萬八千呎に過ぎなかつたと

◎我公文書を檢閲す

浦鹽の出來事

浦鹽來電=浦鹽に於ては獨探取締と云ふ事で一切の書信の檢閲行はれつゝあり、我當局は是に反對せりとの事なるが何人の提唱なるか不明なるも書信は總て開封せられ我菊池總領事の公文書も檢閲を受けたる驚くべき事實あり(東京特電)

◎室戸艦竣工

廿三日進水式

神戸三菱造船所にて建造中なりし軍艦『室戸』は此程竣工し二十三日午前九時十五分進水式擧行の筈なり(神戸)

◎日伊兵の衝突

無事解決す

十六日寬城子にて我守備隊と伊太利兵との衝突あり、西伯利行きの伊兵二百名は十六日午前九時四十分寬城子驛着、飾器彈藥を滿鐵貨車より東淸列車に積換中同十時頃我兵士の同プラットホームを通行せんとするを阻止したる爲め、我司令官は對抗的に兵士全部を集めたれば、茲に兩國武裝兵數百名の對峙となり一時は殺氣立ちて見えたるが、我司令官の伊國隊長に對する談判にて伊軍謝罪し圓滿に解決したり(長春)

◎賑うた昌慶苑

元氣な象君 河馬は大弱り

滿山紅葉して散策に氣持のよき今日此頃昌慶苑も可成賑つて居る廿日の日曜日は天氣はよし絶好の散策日和だつたので從つて入場者も多く坊ちゃん孃ちゃん達を合してザツト

◇千數百人 記者もその一人となつて秋の動物諸君を訪れて見た此日象君一層の元氣で長い鼻を左右に足踏しながら愛嬌を振り撒いて居た網の中の河馬は呑ん氣さうに首を廻し白鳥は水面を凝視しながら何か冥想に耽つて居た

◇夫婦仲の よい事!鶯は番相變らずの鳴、ほうじろ其他の小鳥はその美しい羽毛をふるはして時前の歌を聽かせ猿公は盛んに曲藝をやつて坊ちゃん孃ちゃん達を笑はせて居た駱駝君は廣い遊び場へ出して貰つて喜んで居たが河馬君は今日の寒さで少々弱り氣味だつた態、獅子、豹などの

◇猛獸連は 又滅法界呑氣なもの皆申し合した樣に氣樂さうに晝寢して居た植物園の方では昨今楓や楓が紅葉し始めて一夕の風情を添へて居るが菊も段々咲き始めたので目下花壇を作らうと準備中だつた

◇東拓社宅構内の

運動場開き

東拓にては今回通義洞社宅構内の一部を取込んで社宅七十の兒童のために運動場を作つたので廿日午前十時から京城神社の祠官を聘して運動場開きの式典を擧げた、一同本社龍山淚光氏のお伽噺を聞き大廣間で御馳走を頂いた上午後は新運動場で角力その他の競技を催したが社宅總出の賑ひであつた、尙運動用具も近々東拓の手で完備する相な

◎醫專の運動會

十九日、獎忠壇で京城醫學專門學校の運動會が開かれた競技と競技の間の時間の長いのに觀衆をうんざりさせ御主人側の校長も『これでは困る』ここほして居たがそれでも午後からは參觀者も大分殖えて李王職の洋樂隊が盛んに景氣を添へた同時に競技も八百米突競走中障害物、盲啞競走と大分面白くなつて來た職員競走の番になると生徒總出で校長を引張り出しに來るゴマ鹽頭の芳賀博士も人並に無事にやつてのけ次は看護婦科助産婦科のスプレース擔架ペングイン等が終ると他校選手の競爭となる所して午後四時やつと閉會した

□素晴らしい

航海成金

一航海一萬圓になる 歐洲航路の船長

成金と云へば直ぐ船成金、鐵成金、藥成金を聯想するが近頃船員の月給成金の勢ひと云つたら素晴らしいものだ今郵船の

▼高級船員の 收入を調べて見ると船と其人とに依て一口には言へぬが先づ歐洲航路の船長なら月給二百圓から三百圓の外に戰時手當が月給の六箇月分と其外にも月給五割分の航路手當がある、二百圓の船長の月給と手當を合算すると一箇月の收入が約

◈千五百圓 になる若し歐洲を一航海して歸らうものなら一萬の身代が出來るのだから成金にならざるを得ない、一等機關士でも百圓の月給なら歐洲一航海するとザッと四千圓の大金が懷に入る、二等機關士迄でも三千圓內外、事務長なら三千圓から四千圓位になる、何んなにしても歐洲航海すると千や千五百の金は必ず懷に殘る、で近頃は高級船員が

◈家を新築 したり地所を買つたり盛んに成金振りを發揮して居るさうな、某消息通は語る『社外の高級船員は船に乘つて居ながら勝手に商賣をするから其收入は大したものだ又戰爭以來外國貸與船に附いて行つて居る船員の數は上級と下級とを合すと彼此千人以上にもならうが是等の人は

▼內地の船員 から見ると又二倍も三倍も收入がある所へ地中海などを往復して居る人は金の使ひ樣がない爲め金の貯まらざるを得ない兎に角月給成金では船員が親玉であらう』

◎大邱の初霜

大邱に於ては去る十九日朝除霜を見たるがこれ大邱に於ける本年の初霜にして過去數箇年間の平均に比し六日昨年より十二日の早期なりと

◎電話で詐欺す

自稱原籍德島縣板野郡外浦村大字外浦生れの齋藤國三郎(三七)といふは去る八月初旬京城より大邱に來り同月十日元町堺日進堂に店員として雇はれたりしが其後聯隊其他より物品の賣掛代金を集めて費消したるが如き形跡もありて結局本月の十日同店より解傭され何等なす仕事もなく浮浪し金錢に窮したる結果去る十二日午後五時頃大邱測候所に赴き同所の電話を借りて京町雜貨店森崎鹿松方へ自分は堺日進堂の主人なるが今市場にて薪を買ひたるも金が不足なれば暫時十圓程借りたし伴れの店員を遣はすべければ渡されたしと電話して直ちに森崎方に赴き只今主人より電話にて願ひ置きたるお金を受け取りに來れりと森崎を欺き十圓を騙取し酒食に費消したるを大邱警察署に探知され詐欺として目下取調を受け居れり(大邱)

元祖 ●寄鍋● 一日園 其他鍋物開始 南山町二丁目 電一四九番

◎中村時章氏

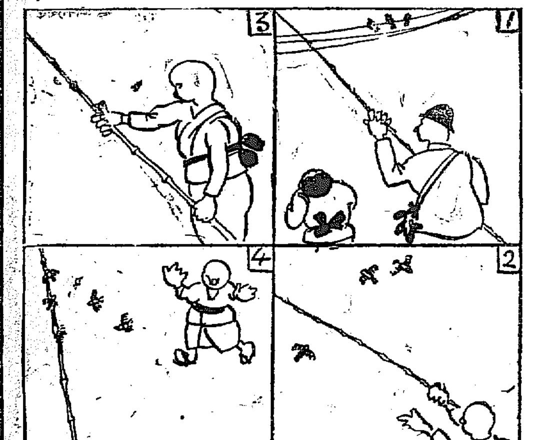
元本社法律顧問辯護士中村時章氏は久しく食道癌を病み黃金町一丁目の法律事務所を引き上げ本町四丁目の寓居に於て專ら靜養中なりしが病革まり二十日午前六時遂に永眠せり享年四十有四、君は明治四十一年京城控訴院判事として來鮮し翌年職を辭し辯護士を開業し今日に至りしものにて通人として知られ殊に唄に堪能なりき臨終に至り辭世の歌あり曰く

嵐吹く萩野の菊のおれはて、今は花咲く望みだもなく

散りて行く 花の香け問はてから殘るのみりの氣であれかし

毎週ポンチ

鳥刺‖助太郎



(一)稲の刈入が初まつて雀の數が頓に多くなり、何處でも彼處でもチューチュー鳴つてゐる、鳥刺しのおぢさん此れを逃してはならぬと鳥黐を著けた竹竿を持つて飛歩いてゐる

(二)今朝も早くから凸坊宅の裏で鳥刺のおぢさん一生懸命雀を刺してゐる高い所低い所飛んでゐる雀まで鮮な作に生捕するのを見て居た凸君すつかり感心して早速自分でも試みようと竹竿の先に鳥黐を著けてやつてみた

(三)凸坊何事にも天才を揮するがこれだけは如何しても具合よく行かぬところか竹竿を持ちなれた許りで雀は洒語なく逃げて行く日暇の中日を苦心に費したがさうく一羽も獲なかつた

(四)此仕事中止するのも殘念だと今度は竿全體に鳥黐をつけ畑の中に樹てゝおいてこちらの家に止まつてゐる雀を追拂つた一齊に逃げた雀は畑の央へ丁度よい竿があつたので一寸一休みと止まつた所が足も翅も鳥黐だらけ凸坊の可愛さまんまと効を奏し午前の失敗を一時に取返して引上げた

奇怪なる外人船客

郵船取締嚴重 [illegible]

振り代へたる表面の理由は船舶の保護にあれども其實は戰慄すべき疑惑を含め深く注意 [illegible] にして御 [illegible] ましたる事實あり又本年春某汽船が西比利亞航海中一外人が發火信號を爲したる疑ひあり斯の如き事件 [illegible] 言語の外にあり左れば今後は船內の警戒取締に對し益々嚴重を加ふ [illegible]

◎火藥船顚覆

平壤林銃砲店にては去る十八日黃海道殷栗 [illegible] ひ船員二名は助かりたるも火藥は全部船と共に沈沒したり損害は三千圓內外なり

◎[illegible]

(下)[illegible]八木生三郞、後藤[illegible]八郞、[illegible]田吉之助、池川正光、松本ちよ、萩原[illegible]れ、飯山[illegible]之助、山口甚兵衛、乃井[illegible]野甲子雄、石田和三、小林[illegible]

一等(二百六十二名) 十九日午後入港景福丸二等客 [illegible]

三等(百二十六名)

天氣 曇 [illegible]

最上清酢 日本一 マルカン印

最上 龍 醬油 ほまれ味噌 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

冷え て下腹や內股が引つる樣に痛み年中腰足が氷の樣にひえ局部からは水又は白或は黃ばんだ惡臭のあるこしけが下りて、顏色蒼白く、小便近く、逆上、頭痛、眩暈を起し時には頭重く、胸先へ差込み、息切れ、動悸強く、手足しびれ、耳鳴り、肩凝り、夜不眠、物事を氣にかけ、月經はあつたりなかつたり又は月經前後に下腹痛み等にて苦しみ是迄有り觸れた藥は浴びる程服んでもきゝめなく惱み迷ふ方は一刻も早く東京市京橋區新富町三丁目東京堂藥房へハガキで申込みなさい自宅で安全に手當の出來る方法を御知らせします

タンセキに不思議な効ある 呼吸器散 呼吸器丸

本劑は最新高貴藥を配伍せる法狭鎖咳の特効藥にして如何に重き患者にても服用せばタンセキ去り、セキを鎭め胸苦しさを和らげ夜分安眠の効を奏す。マヅ一週分を試みよ!!

本劑の特長 かゝる時に偉効あり ●息苦しく胸痛む時。●咳出で夜眠られぬ時。●たんに血混りたる時。●聲潤れ出ざる時。●のんど腫れ痛む時。●たんせき切れ難き時。

本舖 大阪 丹平商會藥房

つければ的確にヨクキク 優良の目藥 一點水 しみず痛まず治る特長ある目藥 實驗有効なりし實例澤山あり 東京築地 タイガー商會

天下一品 白鶴 卸小賣 部分品 醬油 營業案內進呈 御用ノ方ハ御一報次第參上 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

書畫 京城鍾路二ノ二七 電話三三八番 楠商店

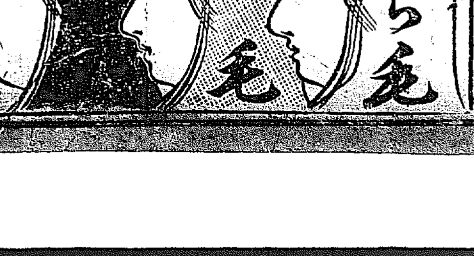
一、被服拂下公告 右十月二十六日午前十時入札 十月二十日 京城憲兵隊

中村時章儀永々病氣之處養生不相叶二十日午前六時四十分死去致候間此段生前辱知諸彥ニ謹告仕候

追テ葬式ハ明二十二日午後一時大和町本願寺ニ於テ相營申候

大正七年十月二十日 京城本町四丁目五十五番

嗣子 中村彰一
弟 同 中村章三
親族總代 山本一郎
同 齊藤太郎
友人總代 大久保雅彥
同 楢崎東陽
同 瀧本猛



志ら毛染 赤毛染 品質本位 志ら毛染 君お代

染法簡便にして三十分に自然の黑髮の色に染る 本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり 定價 特製三十八錢 特製二十五錢

總本舖 東京淺草 山吉商店 關西代理店 大阪市東區平野町 伊藤朝日堂 電話東一七四四 一六六七 振替大阪三九〇

◇平野丸 撃沈は各方面に〔…〕大なる衝動を與へたり日本郵船歐洲航路に從事せる一流船を二流船に〔…〕
◇某重役 談に曰く〔…〕丸の撃沈せらる、前に船客中の一某國人は自用船に乘りて行方を晦〔…〕信號したるを船員に發見せられたる事と云ひ歐洲航路の〔…〕は實にしこ
◇便所の〔…〕を利用して〔…〕日本郵船の申合せにて〔…〕人出帆の〔…〕乘船は見合さしむる場合もあるべ〔…〕

★西伯利亞戰線の航空隊（記事參照）

（一）モ式飛行機（二）出發せんとする麥田中尉（金谷從軍記者撮影）

◎雨を衝く機影
白樺の林を掠むるソッピース

黒龍江州プレーヤ河畔に吾々の先頭列車隊は停まつた、敵の破壞した鐵橋を修理する爲め鐵道隊が架橋工事を急いでゐるのを見てゐると翔枯れの原の空高くわが航空隊の飛行機が飛ぶ、其の轟々たる爆音は見る〳〵間に西方の空に消えた九月十九日の朝である、午後は

又濛々たる雨と

なつた、自分は露人ばかりの汽鑵車に乗つて獨りアルハラ驛に驀進した「ふと灰色の雨空を見ると今朝出たソッピースが一つ飛んでゐる、またボチカレオ方面の偵察に往つたんだなと思ひつゝ驛に著いて聞けば未だ

「永淵中尉が歸らぬ

と云ふ『それでは先刻見た機影がそれだ、早く捜索においでなさい』と云ふ、中西隊長も心配して『君は好い所を見て呉れた、それでは直に麥田中尉に往つて貰はう』と航空隊は俄に色めき立つ、聞けば昨日（十八日）には武田（次郎）中尉がモ式に乗つて

前面の敵に爆彈

を投下して來た、中尉の飛行機はブラゴエミアレキセーフスカヤとの分岐點ボチカレオ附近の敵情を偵察した上五發の爆彈を有効に投下した、今日はまた永淵中尉がソッピースに乗つて往つたが途中で故障があつたと見ゐる』といふ、早速中澤中尉が出て來て機體の檢査をすると飛行機服の

麥田中尉が搭乘

した、日本ならば晩秋の景色とも見ゆる野原にはまぐさを積んだ間に中尉の飛行機は持ち出された、濛々たる雨の降る中を飛行機は爆音を殘しつゝ遙かに捜索に向つた自分は再び汽鑵車に乗つた、不圖車上から見れば

霜に飽いた白樺

の林を掠めてソッピースの機影が低空飛行の雨を衝いてゐる、自分はそれなり前進して後の様子を聞かなかつた（九月十九日ドミカンにて從軍記者金谷生）

成川誌（二）
—名勝古蹟—

◇◇紇骨城址　成川郡上部里紇骨山に在り沸流江を隔て、邑内と相望む世に傳ふ松讓王の築く處なりしが東明王之を陷し改め築きて郡城とせりと
◇◇檜山城址　天成面檜源里に在り天成の城壁にして天成面の名是より起るこ府使金睦避亂の爲め修築し軍倉を置きしも今や廢せり
◇◇鶴嶺山　成川面下部里に在り邑内を距るこ半里餘左右の絶壁鶴の雨翼を張るに似たり由つて此の名あり
◇◇香楓山　成川面永崇里に在り邑内を距るこ二里山麓に香楓寺あり春秋眺望に好し中に靈峰、筆卓峰、芙蓉峰、同靈峰、蔡柱峰の諸峰あり
◇◇五十二峰　紇骨山の東に在り沸流江に臨みたる一帶の斷崖絶壁の起伏凹凸せるものの稱にて支那徐州の巫山十二峰に擬し名付たるものなり沸流江の清流其の裾を洗ひ岩滑らかにして深淵に魚躍り仰げば斷峰空に聳へ奇巖將に落んとするの觀あり天柱峰の嶺に神殿あり世に傳ふ東明王を祀る所なりと山水明媚風景佳絶なり
碧玉、金蟾、天柱、麥仙、高居、陽巖、神女、朝雲、暮雨、崔巍、巒芝、驅柱の十二峰
◇◇東明舘　舊都護府の客舍にして其の規模宏大なり萬暦四十五年帝國睿元大皇の朝元和三年に成したるものなりと云ふも屢々修を加へ特に今より三十二年（明治十七年）に於て大修繕を加へ殆んど舊態を換したりこ雖も蒼古色蔚然たり之れに附屬する主要建物を擧ぐれば降仙樓、留仙閣、十二欄、朝雲閣等なり
◇◇訪仙門（送客亭こ稱す）　今を距るこ二百十九年康熙三十九年（元祿三年）府使尹以道の建つる所邑内の西郊に在り樓門にして建築古雅掬すべし
◇◇惠福寺址　東明館の後にあり大伽藍ありしも今は一基の石塔あるのみ全部花崗岩を以て成り高さ二丈餘にして五層を重ね其の年代詳かならざるも或る考古家の説に據れば千年以上を經過せるものなりと云ふ
◇◇道安寺址　邑内の東數町の所にあり僅に一基の石塔を存す惠福寺の塔に比し稍小さく其の年代も近きが如し
◇◇陵羅島址　沸流江の中にあり十二峰の西に位す傳へ言ふ本壖の陵羅島は本郡の陵羅島往古洪水の爲め流れて其の大同江の淺瀬に止り一島を爲したるものにして今より約百年前迄は成川都護府使に於て同島の公課を收めたりこ今北の北を沸流江中に存す面積約二萬坪に達する砂礫の洲こす
◇◇龍降温泉　靈泉面龍澤里に在り邑内を距る西北四里の所にして其の年代詳かならざるも其地方に居住する朴の一族に於て經營し一般に入浴せしめたりしものなるが今や同地の温泉組合に於て經營し男女浴室を異にし又之を上中下に分け料金を徵して入浴せしめつゝあり其質極めて良好特に皮膚病及び消化器病に適するを以て四時浴客群集するも未だ旅舍の設備完全ならざるを以て內地人の來り浴するもの尠し

◎〔…〕軍へ圖書
〔…〕前の新企劃◇
〔…〕なりし出征軍〔…〕約一萬冊は〔…〕に夫れ〳〵〔…〕べく書籍は〔…〕て軍談、野〔…〕こし猶將校其他知識階級の爲め西比利亞及び滿洲支那等に關する書籍も能ふ得る限り寄贈し猶第二回の分も近く發送の準備中にて有志者の寄贈を歡迎し居れるが書籍は一讀の上は多く高閣に束ねらるゝを常こし居るを以て各方面より讀了後の書籍續々寄贈され第二回第三回こ引續き發送せらるゝに至るべし之等の書籍は何れも慰問の爲め軍隊に寄贈せるものにて其の處分は一に軍隊の自由なるが某氏の談に由れば西比利亞問題解決後軍隊引揚げの場合は此の寄贈書籍を基本こして出兵記念の爲め齊々哈爾、哈爾賓、浦鹽等に記念文庫を創設する計畫出兵幹部の間に決定せられ居れりこ（大連）

◇北漢山登■（一）
赤帽生（投）

秋の一日を樂しむべく我等の知る人々を誘ひ合せたる一行四十三名日の日曜を卜し北岳登りを催しぬ前夜は時雨に風さへ吹き荒み天候のほど氣遣はれしが曉來拭ふが如く雲は去りて一天霽れ渡り秋空一段に鮮かなり

一行の行路二手に分れ一隊は敢て軟脚にはあらねど日頃慣たる達乘に特技を誇るべく蹄音響かせ義州街道を指して驅け去りぬ他の一隊は身仕度輕く裝ひ已が毛脛に任せて彰義門より捷徑を辿れり路は狹く小川を横ぎり谿を縫ひ山を越し坂を登り〳〵て北漢山の中腹太古寺に到る時正に十一時を過ぐること五分徒歩組の一隊橋本、神崎、寺島外十數氏先著し約三四十分遲れ來れる乘馬組の一隊鹽澤、長谷部、宗安外數氏こ落合ひぬ乘馬組は舊把撥里より鞍裝に身を代へ導者路を踏迷ひ遲延せること知られけり此所にて一先づ憩ひ一行の爲めに用意されたる鹽澤氏の好意に浴して午餐滿腹す文士は詩歌、俳句をものにするもあり亦雜誌に打興じあへるもあり

やがて大雄殿の階段に一同集まり住持を加へて記念撮影を爲し更に寺門を出で立ち導者の後を追ひ漸く坂を押し分け巖の磴を踏み奇石の上を殆ご直上す此の山けはしこにはあらねど路の曲折少ければ歩行いこ難し暫し歩登れば汗出づ休めば汗忽ち收まり冷氣肌に透りまた登れば直に熱す一冷一熱登るも苦しく休むも苦しされご山上遙か婦人の聲あるに勵まされ漸く攀ぢ登りて白雲臺の麓に達す惜しむらくは全山紅葉の奇を見るこご能はざるも脚下の大溪は點々錦繡を織り仰げば巨巖白雲の上に聳へ兩傍の奇峰亦之と對立し光景さながら一幅の繪圖を擴げたるが如し此所にてその奇景を背にして再び記念撮影を爲しぬ日は漸く夕陽に傾きたれば之れより歩をかへしたる人々もありたれご此所にて下らんも殘り多しこて更に勇を鼓する猛者は鹽澤氏を先導こし續いて長谷部、寺島、宮野、津村、藤井、山澤、神崎、國分、瀧野、高崎、岡山、羽卿、櫻井、風間、中村、洪の諸氏白雲臺上の人こなる

◎船體積荷とも行方不明となる

鎭南浦府原口秀吉所有の帆船第三十一號雲海丸は石炭六十五噸一千三百餘圓を積み去る十日大和島を發し飛二浦に航行の目的を以て黄海道席島附近を通過せんこする折柄同島燈臺より北方十五海里の沖合に於て梶を破損し修理中激浪揺たしく浸水三尺五寸に及び倖馬を流失し沈沒に瀕したるより直ちに南島に向け辛うじて急航し德島沖合にて坐礁したり船長外乘組員三名は附近の漁船に便乘し德島に上陸避難し右の旨鎭南浦へ急報ありたれば南浦より直ちに救助船を出し乘組員一行を救助したるも本船は荷を積みたるまゝ行方不明こなれり船價は價額五千圓積荷共六千三百圓の損害なりこ（鎭南浦）

◎氣狂を治すのに灸を据て毆る

◇苦しみに堪へず自殺す　鎭南浦碑石里三三の四魚釣商李圭文（五十）は昨年子を亡ひてより精神に異狀を呈したるより妻の鄭確貫が附近の漢醫者文顯淡に據て貰ひたるに文顯淡は亂暴にも圭文の兩手兩足を押へ灸を据ゑ棍棒を以て身體を所嫌はず毆りたるより圭文は餘りの苦しさに家人の隙を見て逃亡し碑石里の井戸に投身溺死せり（鎭南浦）

黒山白水

（主幹栗林氏の遺稿出版に就いて）

日比の七愛息の死後四十九日に當り『追憶記』を上梓して知友の間に配布した▲其の頭に掲げて愛兒之しく逞しい令息の寫眞に題し『之れは羅病當夜出來せるものにて兒は終に之れを一見だもせず』こ記し▲其の生誕より病を獲たるに至る迄の健美にして家運の光明たりし令息の活潑にして聰明なりし狀態を記し▲遂に其の死を記すに至りては人をして悲痛卒讀に堪へざらしむるものがある▲これを讀んで親の恩愛の如何に深厚なるかを今更の如く感じて泣いたこつた人もあつた▲氏の長男一君は羅病後僅に二十四時間にして現世の光と榮とを捨て天國に歸つた▲氏の追憶記は單に此の間の經過愛哀愁の情を記すに止らず一般父母の爲め令息の羅病前後の容體即ち氏が絶大なる犠牲より得たる貴き經驗を極めて詳細に記述し人々の參考こされてある▲尾上柴舟氏が『もろこしの荒野の草に置く露の如何に落つらむ君の涙は』こ栗林氏に寄せられた一首も聞く者の涙を誘ふではないか（大地）

次回小說豫告

本紙朝刊四面連載の小說『妻の心』も近く喝采裡に大團圓を告ぐべければ次回には引續き

母と子
北島春石作　森田久畫

と題する新作を連載すべし作者は事實に於て生さぬ仲の執筆者なり其の靈腕は江湖愛讀者諸君が既に悉知する處本篇亦作者得意の作にて人情の微を穿ち細に入る處恐らく作者の手腕を遺憾なく發揮せし傑作也特に作者が本社の依頼に應じ長時日を費して執筆せるもの必ず讀者の期待に反せざるは本社の保證する處也乞ふ掲載の日を待たれよ

演藝案内

有樂館　北京小林商會海軍一手代理店　米國ユニヴァサル會社特約　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話（龍山）二〇五番
十月十八日より特撰三大映畫
△探偵活劇『不思議の鐵輪』
◎正活劇『黒き雨』全五卷
◎喜活劇『住吉まいり』全通し
第五『灰色の幽靈』十七卷中七八篇

黄金館　大正活動寫眞會社京城釜山一手代理店　電話（晝間）二二六六（夜間）二二六七
◎十月二十日より四日間限り特別大興行　米國ユニヴァーサル會社ブルーバード特作映畫
◎社會劇『人形の家』全一萬呎　ヘンリック・イブセン原作
役割△ノラ…ドロシー・フィリップス孃△トルヴァルト・ヘルマー…ウイリアム・ストウエル氏△ニルス・ロッスタット…ロン・チャニー氏△リンテン夫人…ミリアム・シエルビー孃△醫師ランク…シドニー・デイーン氏△アンナ…ヘレン・ライト孃
坪内博士　坪内士行氏　松居松葉氏　島村抱月氏　校閲　説明　西村樂天　獨演
◎人情活劇『幽靈船』全四卷　サホイア會社大作

大正館　櫻井町　電話八七三
十月十八日より新寫眞
◎探偵活劇『慧眼』全五卷
『アンブローズ渇望』
◎舊劇『海野兄弟』全四卷

金牌　登錄商標　男女頭髮用本椿ホマード　毛を黒く長くつやを出し赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙　本舖　大阪西横堀　三宅堂

◎電話開通　七一五番　京城太平通貳丁目　各種土管並陶器類　山本商店　主任　山中一郎

コノ銀貨ト健胃強壯

胃が病い、胸が痛むと言ながら、僅の銀貨を惜んで、藥を飲まない愚は、勿論でありますが、ソノ僅の銀貨で藥の善惡の撰擇を誤つた時には、取返しの附かぬ事になる

帖佐博士ノ賞讃セル 改正胃活

胃活は今回、定價を改むると同時に、其內容をも改正したる爲、內科專門醫學博士帖佐彥四郞先生が、配劑宜しきを得、胃の諸症に對して顯著なる効能ありと賞讃せられましたのですから、若しも

胃病良藥

ハテ胃がワルイと

思ふ時は、模範的健胃劑の、胃活を即時に買求め根本的に、御治しあれ、善は急げ

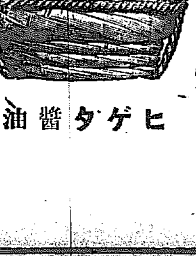
●藥は必ず思立たる時買ひ玉へ
●藥は必ず高きものを買ひ玉へ
●藥は病の輕き間に買ひ玉へ

（胃活錠）貳圓、壹圓五拾錢、貳拾錢
（胃活）壹圓、五拾錢、參拾錢、拾五錢
東京日本橋區本銀町三丁目　山田安民藥房
大阪東區南久寶寺町二丁目　山田安民藥房
●全國各藥店にあり

内科　小兒科　村上病院　京城永樂町一丁目（商品陳列館前）電話六二三番　院長　醫學士　村上龍藏

衛生口錠　カオール
一等賞を取る人は何時もカオールの愛用者
僅か二三粒で元氣盛んに精神爽快に決して他人の惡氣を受けません
人込中、遠足運動會等には必ずお持ちなさい
本舖東京　安藤井筒堂

京城西小門町二一番地　田中丸病院
院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫
電話八八五番
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

宮內省御用達
千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造

ヒゲタ醬油
代理店　京城明治町二丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話長八四九番・一四五四番　振替貯金口座京城七五番

小鳥捕用　カスミ網
（極上絹糸製）◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり
高さ六尺　二間　三尺二棚　高さ六尺三尺二棚
京城永樂町二丁目　吉備商會　電話二二四番　振替京城四三六番

資本金六百萬圓　株式會社十八銀行京城支店　京城黄金町　電話四二〇、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候◎右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

汽車　京釜線(南行)　同(北行)　湖南線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　京元線(南行)　同(北行)

毛谷村六助 卅六番角(ばんずもう)

第四十席　桃川桂玉口　浪上義三郎速記

塙團右衛門に行司役を尋ねられて石田三成が暫く默して居たが、三『されば行司は未だ誰こも定まり居らぬ、何れ此の連中より拔擢いたさうこ心得居る　團『ハヽア左樣なれば私を是非行司にお選み下さい、相撲不得手なれご行司は大名人にございまする　三『オー左樣か、然らば其方こ定めて置かう』こ乃で團右衛門が行司役こなつた是を聞いたる力士達も團右衛門殿く行司を望みしを羨み　○『然らば我等も行司　△『拙者も行司　○『某も行司』行司ばかり殖ゑて相撲を取る者は一人も無くなり、流石の石田も困り果て　三『一同相撲を取らず行司を望むは却つて一を知つて二を知らぬこ申すもの、強ち相撲に負けたればこて各の武勇に瑕のつく譯でもあるまい、十儀に上り六助に勝を得なば六助は其者に隨臣をいたすこいふ』然らば主人へ一人の家隷を推擧いたさする是れ戰場の一番首にも優る手柄であらう』それに行司を望むは殿下の上意を背き、不忠不義の名を取らねばならぬ、茲の道理を能く聞き分け一同勵んで角力を取りくれます樣に』こ懇に諭したによりその意味を悟り團右衛門然らば手前は六助を負かします、角力の方に願ひますこ一人が云へばそれに續いて我等も角力、拙者も角力僕も角力こ茲に三十五人が力士こなる、又それでは行司が無くなり、五奉行も困り果て居るこ、十時傳右衛門進み出で　傳『六助は當國出生の者、人々より先んじて拙者が相撲を取るは御馳走に相成らず、依つて拙者は亭主役こなり行司をいたしまする』三成手を拍

三『流石は十時、能く云うて下された、然らば確に行司は貴殿こ定め置く、必ず變替なき樣　傳『委細承知仕まつりました』行司も極り其の日は解散こなる、偖時は天正十五年四月五日豐前國香春郡小倉城内二の廓字入鹿野こ申す操練場に於て秀吉公上覽の大相撲、東の方は毛谷村の農六助一人、西は名にほふ諸國の大名自慢の勇士其の數三十六人、中に一人立花家の勇士十時傳右衛門、主君へ願ひ、此度の相撲行司の役目を命ぜられたしこあつて、押して是を勸むるは本人も所存のあるこさ、大抵な勝負は理を非に曲げて六助に團扇を揚げ恐く彼を勝たせ、然らば番數茲に三十六番、如何に豪氣の六助も鐵石ならぬ肉身凡體疲るゝは必定、彼の愈疲れたる處で他人に行司を讓り、己が取つて勝を得れば此の六助は立花家の臣下なり、我全國の荒大名自慢の家來も勝ち得難き六助を投げたる勇力を世間に知らせ、二ッには六助を主家へ仕へ得さす、是一擧兩全の策なりこいしくも計りし行司の役目、早朝より御所へ進みそれこれの指圖萬端行屆く、辰の上刻より當場所へ秀吉公の出御、御先導は立花左近將監、同じく三河守、供奉の人々には此度隨行の諸大名、家來一同此の縱覽を許さるゝ、其の數無慮十六萬、實に珍らしき晴の勝負お選みに預かりし三十餘名の英傑勇士、正服着用にて休憩所に入る暫時休憩、上を初め諸侯の御坐の定まるや、奉行筆頭石田治部少輔係り役人に指圖、打込む太鼓は勇ましく、勇士の面々溜へ着座する行司役十時傳右衛門は濃き茶色の

……侍烏帽子を……々脇ばさみ、……團扇を取つて……の六助御機……脱ぎ捨、紺緞……の馬連、勇ま……敗より下り立ち……木賊色に白く大一……子……し……來る

大高大吉を染出したる大紋、梨打の烏帽子を頂き黄金作りの小刀を帶さみ是も控敗へ一禮して乾の柱に座す是ぞ石田治部少輔三成なり

ラ……　硝子　電氣傘
卸　商
京城本町二丁目
長門屋
橋本硝子店
電話一三二番
振替一七七三番

◎安東縣近事

▲感冒流行甚し　安東地方には昨今氣候激變の爲めか流行性感冒に罹るもの甚だ多し各自健冷せぬ樣十二分の注意を要す

▲大阪歌舞伎來　十月二十一日より五日間京橋座に於て大阪歌舞伎片岡我左衛門、尾上鶴三郎、尾上多喜藏其の他の一行花々しく開演すべしこ新景氣盛んなり

▲津田氏の視察　津田旅順師範學堂長は滿鐵沿線學事視察の爲め二十日頃安東縣へ來るべき旨地方事務所へ內報ありたり

▲磯野衛生課員　磯野滿鐵衛生課員は沿線各地の衛生狀況視察の爲め十八日午前來安二十日まで滯在視察の上二十二日本溪湖を視察の上奉天に向ふべしこ

▲荒井社長通過　南滿製糖株式會社長荒井泰治氏は社用其の他の要件を帶び實業家四五名を帶同し十九日頃安東通過奉天へ向ふ可き旨或る向へ通知ありたり

▲森領事歸任期　事務官會議列席の爲め旅順へ出張中なりし森安東領事は二十日頃歸任すべき旨領事館へ通報ありたりこ

▲滿鐵の品評會　安東縣山下町滿鐵に於て二十日より二日間同社員の手に成りたる蔬菜の品評會を開催する由なるが何人こ雖も參觀を歡迎する由

▲普通學校祝賀　十一月一日は安東普通學校の開校記念日に相當し旁校舍新築落成祝ひを兼祝賀會を開くべく目下其の準備中なり

十月二十一日九星　舊九月十八日壬寅　本命四綠　調定友引

▲四綠　きわござき　臨引事有目夢　亦見合　北方は吉　口論劍戰▲五黃　決著せざる事有日新事　手控當事は吉　紹介仲人爺た禁す▲六白　貴へきらぬ事有日　新事手控　爲事は吉蔵親切にせらるべし▲七赤　面倒臭き事有日　新事手控當事は吉蔵叮嚀にせらるべし▲八白　大體の事有日　新事手控當事は吉保證の　襄張等を禁す▲九紫　順潮の日　轉居入學金件名弘家

帝國陸海軍、帝國大學病院、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院等の嚴密なる試驗に依り多年御採用を蒙れるは花王石鹸あるのみ

先づ品質を問へ
次に價格を問へ
更に效果を問へ

品質本位
花王石鹸は
日用石鹸として重要なる此の三問を通して正しく
現代の逸品なり

花王石鹸製造元　東京馬喰町　長瀬商會
鶴香水圖東代理店
鶴香水日本輸入元
花王石鹸圖西代理店　大阪安土町　大崎組商會

互光商會 汽船廣告

◎元山西湖、城津、清津行　第三萬盛丸　十月廿七日釜山出帆
◎門司、宇品、神戶、大阪行　第三共榮丸　十一月七日釜山出帆　五日元山出帆
釜山　大池回漕部(電話一三)

◎日本郵船出帆

大連、天津行
相模丸　十月廿三日
酒田丸　十月
高砂丸　十一月廿七日正午出帆
仁川海岸町一丁目(電話十番)　堀回漕部

河波共同汽船出帆 仁川

大連直行(關東都督府命令船)
廿三共同丸　十月廿一日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱　大連にて青島行定期船接續荷客共通取扱
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　野口商會　本町四丁目(電話一七三番)
元山代理店　田口回漕店　南大門(電話二四四七番)
京城取次店　河村運送店(電二七六〇、八二二)

尼崎汽船出帆 仁川

下ノ關大阪直行
赤城丸　十月廿七日後四時出
大有丸　十月廿一日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行
秀吉丸　十一月五日後四時出
神代丸　十一月　日後四時出
君が代丸　十月　日後四時出
仁川海岸通一丁目(電話五九番)　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告

天候阻碍等ノ爲メ發著日時變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ御承知被下度候

▲敦賀行 清津發、城津、元山、經由　平安丸　十月廿七日 清津發　十月三十日 元山發
▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由　平壤丸　十一月四日 釜山發　十一月六日 元山發
▲雄基行 關門發、釜山、各港經由　山陽丸　十月廿五日 釜山發　十月廿八日 元山發　成鏡丸　十月三十日 釜山發　十一月三日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基間往復　穩城丸　十月廿三日 元山發
▲大阪行 雄基發、清津、城津、元山、釜山、門司、神戶經由　平壤丸　十月廿九日 釜山發
▲關門行 雄基發、清津、城津、元山、各港經由　京畿丸　十月廿三日 元山發　十月廿六日 釜山發　雄基丸　十月廿九日 元山發　十一月二日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭經由長箭行月六回 自六月至十月間　穩城丸　十月廿七日 元山發
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由　盈德丸　十月廿九日 釜山發
▲釜山浦項線 釜山發長生浦、方魚津經由浦項 相互ヨリ毎日一回出帆
▲濟州島行 釜山發長承浦、麗水、巨文島經由　昌平丸　十月廿六日 釜山發
▲濟州島行 木浦發東廻ハ島嶼所安島經由 西廻ハ島嶼莞子島經由　東廻 公州丸　十月廿九日　西廻 慶興丸　十一月六日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 釜山、麗水相互ヨリ毎日一回出帆
▲木浦麗水線 釜山行麗水ニテ接續　順天丸　十月廿五日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行　慶興丸　十一月二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由　全州丸　十月廿六日 仁川發
▲海州行 仁川發江華島海州間各島經由 仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由　江田島丸　十月廿四日頃 仁川發
▲大連、青島行 仁川發芝罘經由　江原丸　十月廿七日 仁川發
○朝鮮鐵道及社外線ト荷客連絡ノ便アリ
本社 京城南大門通　電話長一九五二、二三三二
釜山支店 釜山佐藤町　元山出張所 元山海岸通　仁川代理店 仁川回漕部　木浦代理店 山野回漕部　京城取扱店 松原運送店　電話長一一七〇
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

第五版

[illegible]び其他の演說に於て高唱せる平和の意見は概括的抽象的にして愈々之を[illegible]ある可し而して獨逸政府が米國大統領の提唱に係る

▲撤兵を應諾せんとす

[illegible]するにあらずと言ふを得ん唯獨逸にして現在の武力を擁する以上は外交上如何に婉曲巧妙の辭令を使用するも獨逸の軍國主義は依然[illegible]とするには獨逸の軍國主義を打破することは極めて緊要にして之を打破せんとするには獨逸の武力を破[illegible]するに際し此點に周到なる注意を拂はん更に獨逸の國狀につき觀測するに西部戰場の不利なる結果[illegible]たるは是れ新內閣の[illegible]意に非ず[illegible]置かんとする者にもで從來の[illegible]する者出で皇帝讓位說の傳はるが如き或は這般の消息を語るものに[illegible]測する能はざるも斯くて漸次近寄り來れり然も獨逸の白耳義又佛國に於てなせる罪惡[illegible]

京城日報

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

中井錦城氏の國本培養論を讀みて (三)

南北生投

(六)養豚會社　創立につき氏は畜類の排泄物を以て荒蕪地を改善すべし之れ養豚會社の必要なる所以なりと唱導せらる、も先づ飼料は如何にすべきかの難問題と共に排泄物のみを以ては氏の云はる、が如く荒蕪地は[illegible]るなり氏亦曰く始興郡野の荒蕪地を開墾するには養豚によるべし初期の飼料は京城其他に得らるべしと頗る單純にして空漠たり予輩は面積何程を改善すれば豚何頭何年計畫にて飼料之れに不足なきか其價格何程之が要求何程なるや且般的に聞かんと欲するものなり若し然らずして漫然之れに着手するものありとせば氏が所謂一舉兩得は全損たるべき悲運は免れざるべしそれよりも農家は必ず各戶に養豚し其排泄物を以て耕地を肥すべしと唱導するこそ穩當ならざる乎

(七)牛肉鑵詰會社　敢て問はん氏は鑵詰となすべき原料を何地に仰がんとするや朝鮮の牛は耕耘用にも運搬用にも食用にも不足を告げつ、あるにあらずや秋[illegible]及せざるも主因としては耕牛の値少なる[illegible]ならざるや予輩は鑵詰會社よりも牧畜の奬勵を圖るを以て國本培養に資するものと信ずるなり

(八)產馬會社　朝鮮馬の矮小にして而も馬用其他に適せざるは事實なり之れに蒙古種を配するは成るなり急に實行して牛の不足を補ひなば神益大なるべし

(九)森林會社附漆樹栽培　朝鮮の山野に植林を必要とするは予輩の意を得たり然れどもその樹種を漆樹に限りて有利なりと斷定せられたるには唖然たらざるを得ず成程漆樹の栽培は朝鮮に適せり有利なり去り乍ら其の適利なるが故に朝鮮の山野を漆樹だらけとし其繁茂は水源を涵養すべく供給の過多は需要を激增すべしと論ぜらる、に至りては破天荒の奇論として驚かざるを得ず、漆樹の栽培は氏の心配に反し內地人は氣附かざるにあらず既に地所を撰定して植樹するものあり全道に人を派して在來漆樹を需めて液汁を採取しつ、あるなり憶ふに氏は最近漆樹栽培の利益を聽き其の耳新しきに惚れこみ一般的用材を無視し斯る奇說を唱へ之を有力ならしむる爲めゴム樹の例を惹き遂には需要ありて供給之れに從ふ經濟上の原則に逆行したる錯謬に陷りたるにあらざるなき乎

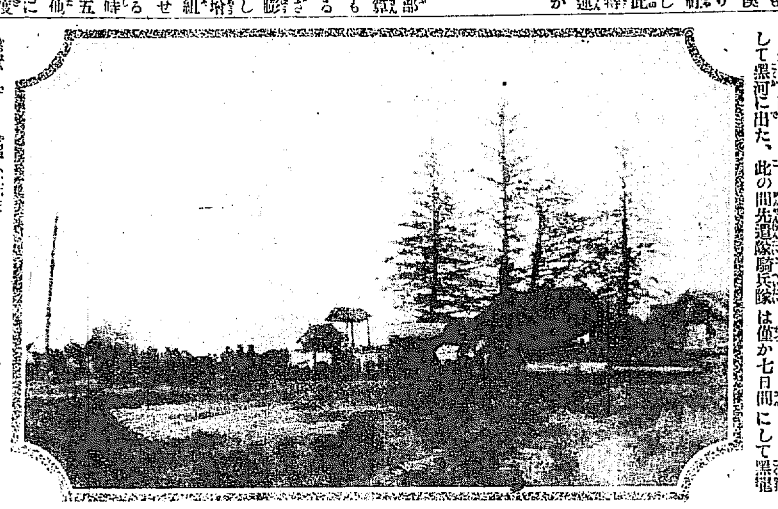
(一〇)果樹販賣會社　氏の說の如く朝鮮に於ける果樹の栽培は前途あり堅實に之を發達せしむるには販賣機關の施設必用なり予輩は之れに加へて先づ果樹栽培の經營方法を改善すべし販賣會社加工會社は其後にて可なりとなれば朝鮮に於ける果樹園業者は悉く失敗の歷史を有せり蓋し經營宜しきを得ざる罪のみ要之朝鮮農業は米作を主とし其他は副業的に小規模に經營するを安全とす若し夫れ資本家が廣く農業を營みたれば進んで專門的に經營するは可なれども朝鮮の現況に照しては姑く小規模の經營に甘んぜざるを得ざるなり

(一一)水力電氣事業　を東拓會社に期待せらる、も水利事業と同じく實現は容易ならざるべし寧ろ此種の事業は政府の指揮と保護と特殊會社の資本と事業と民間の氣運と協和一致して策動する外なかるべし

財源樂觀

高橋藏相談

來年度豫算編成に就ては歲出の部は追加豫算及び特別會計豫算等の要求書大藏省に廻附未了のもの多く昨今漸く查定に着手したる位なればその內容を詳かにせざれど物價の騰貴に基く諸經費の膨脹額の外にも[illegible]て一億五千萬圓以上に達し官吏增俸額六千萬圓以上なるべく軍備組織の如きも既に元帥會議の可決せる所にして何時要求し來るや測るべからず西伯利出兵等に依る臨時事件關係費も來年度は少くも四五億圓を計上するを要すべく之に他の新計畫を加ふる時は頗る巨額に上るべし是が財源に就ては本年度歲入の八月末現計に依りて本年度實行歲入豫算と實際の歲入額を想定比較し來年度の自然增收を見積りて略見込を立てたるが來年度の自然增收は一億八千萬圓にも上るべく之に減債基金は存置するとも事實上外債の買入償還は英國政府が開戰後之を買收して米國に讓渡して提供し居れるを以て民間に讓渡せるものなく本年度の五百萬圓買入償還計畫さへ未だ完ふするを得ざる狀態なれば存置の効果なく之を財源に繰込むを得ば茲に三千萬圓內外を得べく更に六年度剩餘金は前內閣が西伯利亞出兵費を之に取りたると官吏の戰時手當及び米價調節等の爲めに全部費消し來年一月以降三月までの戰費は更に本年度の追加豫算として本年末の議會に提出せざるべからざる次第なれば例年の如く剩餘金を財源に繰入る、を得ざるも前內閣以來の例となれる本年度の歲入超過想定額中より來年度財源に充當することは財政の基礎を弱むるものにして如何とも[illegible]からざれど已むなくば之[illegible]五六千萬圓の財源を得べく且つ戰時利得稅の如きも本年度の平均に行けば來年度は八十萬圓以上に上り約五十萬圓の增收あり彼此對照するときは出兵費等の臨時事件關係費を公債政策に依ることせば約一億圓內外の財源は之を新事業費に充當するを得べく若し之に製鐵所擴張費二千餘萬圓治水事業費千三百萬圓の來年度割額を公債政策に改むることを得ば都合一億三四千萬圓の新計畫事業財源を得べし（高橋藏相談）



◇興安嶺の絶頂（金谷從軍記者撮影）

わが滿洲守備の第七師團騎兵第七聯隊及び旅順步兵第廿八聯隊の船橋支隊は九月初旬より齊々哈爾を發し陸路百四十里を突破して黑河に出た、此の間先遣隊騎兵隊は僅か七日間にして黑龍江畔に出て三宅步兵大隊また十三日にして到着してゐる、寫眞は興安嶺の絶頂與帝廟前にわが軍の休憩せるところ、此處にて芦見騎兵中隊長が遙に東方を拜して　陛下の萬歲を高唱したところである。

邂逅

佐々木峯雪

二十六　出來心　二

雨は風の間に／＼明け放した表口から遠慮無う吹き込んで、上がり框一帶はびた濡れであつた、頭から足の尖まで一絞りに濡れた庄吉は、一時も早う着換んものと、勢ひよう自分の宅へ歸つて見ると此有樣なので、熟々身の情無さが込み上がつて來た。

『こう庄坊、閑太いにも程がありや、こゝ、こりや何んだいこの』

斯う云ふ間に惣兵衛の手から彈かれたやうに庄吉の前へ飛んで來たものがあつた、

『何だらう』と目を眸るとそれが外にも落したと思つた古新聞に包んだ五十錢の銀貨であつた。

『呀ッ』餘りの事に庄吉は我を忘れて大きく叫んだ。

『こらッ、わりや此間も二錢の行燈が畏しいと思つたんだが、斯うして秘密隱して置きやがつてからに、乃公に內證で頬術の落ちるやうな物を食つてけつかるんだな、乃公そんな事とは知ら無いもんだから、此間も此間で忠義爲ると思つてあゝして單物迄買つてやつたんだ、それにわりや斯うして每日々々乃公に秘して今日は三十錢儲けた、今日は三十七錢儲けたと吐しやがつて、乃公を瞞着しやがつて、こつそり五十錢銀貨をシャツのポケツ邊へ秘して置きやがるんだ、こんな大金を平氣で秘すんだから、十錢二十錢は每日だらう、さア何買つて食ひやがつたんだ、さア吐せ、吐さん分には頤の骨も引つ裂いて呉れるぞ』

惣兵衛の血走つた兩の眼からは强弓を離れた矢のやうに一條の怒氣が颯と庄吉の面を射た。

『………』庄吉は何んと云はれても答へる詞は出なかつた。

『やい吐さ無いと頤引つ裂くぞ』惣兵衛はひよこりと起つた。

『僕叔父さんに何も買つて食やしません』

『馬鹿吐け、何も食は無いことがあるかい、乃公等にやちやんと何でも彼も臭がするぞ、われがどれだけ秘したつて、死ぬ迄口に證懸けても乃公ちやんと知つてるんだ、桃も買つて食やがつたゞらう、西瓜も買やがつたに違ひ無い太い餓鬼だ』

『叔父さん僕桃なんて買や爲ません』

『わ、八ケ間敷いわい』

『何と云つたつて買は無いんだもの』

『五月蠅、四の五の云は無いで能でも爲やがりや、まだしも可愛い氣も起るが、强つて知ら無い買は無い、いや食は無いと吐しや、乃公だつて此儘捨てゝも置け無い、さ投り出すから償う思へ、もうわれの面倒見る氣は爪の垢程も無い、さ出て行せい』

惣兵衛はづか／＼と側へ寄つて上り框に寒さと怖ろしさに慄ひ上つて居る庄吉の襟髮掴んで、風怒しい表口へ突き出した、空腹と疲勞とで綿のやうになつてゐた庄吉は、脆くもどたり泥濘の中へ打ち倒れた。

『叔父さん』と力一杯聲を絞つて『堪忍して下さいよ、僕理由を云ひます、叔父さん其お金を秘した理由云ひます、堪忍して下さい』

『ゐゝッ聞く耳は無いわい』惣兵衛はぴしやりと表戶を閉め切つた。

『叔父さん……』庄吉の聲を挾るやうな哀れな聲が、風の途切れ／＼に路次間に響く。

『はゝゝ……態無いわ』と惣兵衛は一旦庄吉の前へ投げた紙片に包んだ五十錢銀貨を取り上げて、『まア一杯飮めらア』と凄く笑つて蔵入れの中へ呑んで了つた。

『はゝゝ』惣兵衛は一としきり笑つて、茶碗に注ぎ殘しに溜りある酒をがつくり呷つた。

『叔父さん、叔父さん…』哀れな聲が雨に混じつて幽かに聞ゆる、と其時表戶口に喚々と下駄の音が

法人登記

旌善金融組合登記事項中第八欄ニ左ノ一項ヲ追加ス
出資一口ノ金額金拾圓也
右大正七年拾月十六日登記
京城地方法院旌善出張所

株式會社朝鮮商業銀行更正
中錯誤ニ因リ全羅南道光州郡光州面北門通參拾參番地ノ甲ノ支店所在地ヲ全羅南道光州郡光州面北門通參拾番地ト更正ス
右大正七年拾月拾八日登記
海州地方法院沙里院出張所

營業科目
鴨綠江材並日本材原木賣買
製材（機械挽）
製函
製板鉋賃掛
宮下木材株式會社
安東縣六道溝西湖通三番地
商號　宮下洋行
安東縣出張所
電話一三・二八三番
電略（ミヤ）

新學期開講
女學校へ通はなくとも立派に女學校が卒業される（一ヶ年卒業）
實修女學講義
下田歌子先生が苦心の結果考案された通信教授法で講師は完全に女學校へ通つたと同樣の學力が得られるのです每月三回宛配付する講義錄は讀めばスグ會得が行く樣に丁寧親切を極めたもので婦人必要な一切の事柄は皆講義してある
賜　竹田宮妃殿下　北白川宮妃殿下　東伏見宮妃殿下　臺覽之榮
會長　從三位　下田歌子先生
講義錄全部改版第一號より發行
入會金免除　奬學金進呈　其他大特典提供
此機會を逸せず入會あれ　講義錄見本付會則無代進呈
大日本實修女學會
東京神田駿河臺　振替東京一〇四五六番
電話本局三〇〇二・三〇〇四・三七〇七番

反千圓の收益もある
藥草栽培（やくそうさいばい）
◇庭の片隅からでも大金が儲かる
目下日本政府が奬勵して盛んに奬勵してゐる各種藥草の栽培は地方都村の繁昌である。藥草栽培は手間が折れず土を選ばず栽培が多く然も多大の收益あり中には畑一段步から一段步に千圓近くの收益を上げてゐるものもある。そこで少しばかり一坪の土地でも利用すれば是非副業內職となる。殊に人に先んじて之を栽培し種苗を取て賣れば大金が儲かる。又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して販賣すれば無資本で一ケ月五十圓內外の利益を得る事も出來る。其の栽培法、採取法、販賣法等は東京神田表神保町卅番地日本藥草研究會發行の藥草講義錄を見るが一番よい。同會の會員には質問隨意藥草共同販賣等の特典もある會則及講義錄見本は同會宛ハガキにて申込次第進呈する（至急を要す）

來る二十二日より
新柄半襟陳列
見切半襟賣出し
京城　三越吳服店

井上十吉先生著
井上英和大辭典
五十二版出來
辭書中の最大權威全國中等各學校に於て指定辭書とせられ名實共に類書に傑出す
知識の戰場は常に諸君の眼前に開かる、優勝の榮冠を得んとせば必ず先づ本書を備へられよ本書の底力は絕大也本書の價値は無限也
縱五寸六分・橫三寸一分　語數二百萬語◆製本堅牢　本文紙數二千三百廿六頁　ナンペル新活字印刷鮮明
臨時定價金二圓
東京市日本橋區本石町　至誠堂　振替東京一七四四

京城日報編纂
最新書式大全
◆菊版總クロース製、美本、約九百頁◆　定價參圓郵稅十八錢
本書ハ專ラ朝鮮關係ノ法規ニヨリ之レヲ十部ニ大別シ第一部民事▲第二部商事▲第三部刑事▲第四部交通通信▲第五部財政▲第六部產業▲第七部特許意匠商標實用新案▲第八部恩給年金▲第九部警察▲第十部雜事ニ分類シ各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書ヲ始メ度量衡、特許意匠商標、實用新案、市場、水產、農林、銀行、鑛業等ニ關スル書式ト加フルニ內地共通ノ書式テモ掲載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式トス代書業者ハ勿論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ヲ知悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必携ナリ
發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　電話六〇〇・九〇番　京城日報代理部
取次販賣所　△大阪屋號　△岩松堂　△日韓書房

體裁もよく　耐久力にも富み　而して
最も安價に使用し得る自轉車タイヤこそ誰しも望む所。
然し斯くて三拍子揃ひしタイヤと云へば現代のタイヤ中
ダンロツプを措いて他に殆んど求むべからず
……◇到る處の自轉車店にあり◇……
□ダンロツプ自動車タイヤは各自動車店にあり□

「ホーオー印ミルク」は!!
外國製品を凌駕し
輸入を防遏したり
品質優秀名聲津々たる
ホーオー印ミルクを
御愛用あれ……

發賣元　京城本町一丁目
株式會社　明治屋京城支店

◇聯合軍益々優勢

英軍公報に曰く白耳義軍はスクール及びクールスカム附近に達し又英軍はリールを距る三哩以內に達し佛軍はノルダム及びダーセを占領し米軍はグラントフル占領をせり（倫敦電報）

◇英軍バクー放棄

英軍は過般來占領せるバクー（裏海沿岸）を放棄せりと（[illegible]通信報）

◇塞軍クルチエワツツ奪取

塞爾維よりの新聞電報に曰く聯合軍はニッシュより北方に向ひ前進を續け塞軍はニッシュの北方三十哩なるクルチエワッツを奪取せり（華盛頓電報）

◇英軍オステンド上陸

英國海軍省發表に曰く英國海軍所屬の航空隊は十八日朝オステンドに上陸し同地附近には敵の艦船及び軍隊を認めざる旨報告せるを以てケイエス中將の軍隊は同日午後同地に上陸せり（倫敦電報）

附記　オステンドは白耳義の西北海岸に位し海水浴場たり、戰前英國との交通盛んにして商業大に行はる　歐洲大戰中獨軍の重要根據地なり

◇聯合軍獨防禦線突破

倫敦來電＝英國公報に曰く聯合軍は白耳義に於ける獨軍の第二防禦線を突破し九哩の進出を爲せり（桑港電報）

◇聯合軍ゼーブルジユ占領

聯合軍はゼーブルジユを占領し又白耳義軍は今やブルージユに進入し尚タルコアンを奪取せり（倫敦電報）

◇獨作戰困難甚し

休戰申込は全く軍事上の必要

佛軍司令部附ロイテル通信員の報道に據れば獨逸の休戰申込みは全く軍事上の必要より來れる事明白なり今回獨軍より分捕品中の書類に據れば獨軍は七月十五日以來西部戰線に於て彼等の有する大砲の三分の一を失ひ且つ全砲兵の四分の一を喪失せるを示し居れり猶馬匹も痛く缺亡し加之聯合軍の前進に由り鐵道を破壞され作戰上困難の地位に陷りたるは甚大なる打擊なりし事明かなり又獨軍の鐵道輸送は聯合軍火砲の爲め遮斷されたり若しピルソン及びメヂエールに至る二大幹線が聯合軍の着彈圏內に入るに至らばオアゼ、エーヌ間に於ける獨軍の退却は遮斷さるるに至る可し（巴里電報）

◇獨降服確報無し

獨逸が降服せりとの報道に對しては未だ確報來らず（桑港電報）

◇獨帝退位說否認

伯林よりの電報に據れば獨逸公報はカイゼルの退位說を否認せり（アムステルダム電報）

◇我等は平和を翹望す

維也納の一新聞は論じて曰く

維也納一新聞は曰く我等は平和を翹望す平和は獲得し得可く獲得せざる可からず我等をして平和獲得の爲に價を支拂はしめよ之が支拂ふ可き高の如きは論ずるの遑無し我等は政治的經濟的野心を擲つを要すと（倫敦電報）

◇米對獨回答賞讚

十五日午後巴里に於て發表されたるウイルソン大統領の對獨回答の斷乎たる殊に海上陸上に於ける獨逸の言語道斷なる罪惡を指摘したる點は非常なる滿足を購ひたり獨逸の目的は今や阻止されたり責任は一にフオッシュ將軍の雙肩に繫がれり米大統領の回答は獨逸の遁辭を暴露し且つ獨逸統治上の重大なる問題に觸れたるものなり巴里諸新聞は此明白にして雄大なる回答は正義と人道の判決なりと賞讚し居れり（巴里電報）

◇英勞働黨宣言書

英國勞働黨は左の如き宣言書を發表せり（倫敦電報）

聯合國軍事行動の中止に先だち敵は其平和提議に就きて更に解說を爲すところ無かるべからず先づ必要なる豫備條件として其侵入せる地方より撤退し且つ米國大統領ウイルソン氏の條件をば最後の協定に於て取扱はる可き一切の問題に對し忠實且公明に適用するの意志なる事を世界に對して明瞭に宣明せざる可からず

◇南露同盟建設乎

キエフに於て小露、ドン、クバン、クリミヤ等の諸地方代表者會合し南露西亞同盟建設を議す可し（哈爾賓電報）

◇米對墺回答發表

墺匈國に對する米國大統領ウイルソン氏の回答は未だ正式に發表されざるも非公式に發表されたり（華盛頓電報）

◇全露政府の決議

アヴクセンチエフを首相とせる全露臨時政府は最近の臨時會議に於て陸軍、外務、大藏、司法、交通、郵便電信等の重要政務を西伯利臨時政府に一任する事を決議せり（哈爾賓電報）

◇廣東政府の職權

東京來電＝廣東軍政府は十六日附各國領事に對し廣東政府は十日以後國會の委託を受け民國々務院の職權を代行す可きを以て此旨各本國政府に電達せられん事を希望すとの通牒を發せり（廣東電報）

◇安福派主義變更

安福派は自己の立場及び諸外國の希望と外界の形勢に鑑み從來の主戰主義を捨て主和派との間に充分の理解を生ぜりと（北京特電）

◇張勳特赦問題

曹錕氏等の張勳特赦に關する請願に對し徐總統は機を見て許す可しと答へたりと（上海特電）

◇浙江省鐵道問題

交通部に對する英公使の抗議

北京交通部は米國インターナショナル、コーポレーションと浙江省溫州、杭州間の鐵道敷設契約を爲したるが英國公使は該線は上海杭州鐵路支線の範圍內なれば英國に優先權あるを理由として之に抗議を申し出でたり交通部は溫州、杭州線は別の幹線にて支線に非ざるを以て干涉さる可きものに非ざる旨英國公使に對し外交部を經て反駁回答する處ありたりと（上海特電）

◇在支公使會議內容

北京協商側公使會議に於て支那の內爭問題に就き意見交換の後支那政府に獨墺人取締を一層嚴重にする事を勸告するに決せり（北京特電）

◇勘察加漁業條約問題

勘察加委員ラヴロフ曰く漁業條約の復活は中央政府の方針如何に依ること尙勘察加の毛皮は浦鹽に於て販賣さるゝ事となる可し（浦鹽特報）

◇外務省重要協議

外務省にては十九日午後一時より幣原次官、小幡局長、武者小路、小村兩課長等會議室に參集し更に陸軍省より奈良局長、參謀本部より中島、高柳兩少將等も參加して重要協議を爲せり（東京特電）

◇六博士會合

寺尾亨、添田壽一、神戶正雄、堀江歸一、小林丑三郎、中村進午、戶水寬人、松波仁一郎の六博士は十九日正午麴町富士見軒に會合し時局問題に就き意見を交換し晩餐を共にしたり、右は日露戰爭當時に於ける七博士の行動に習ひたるものなりと（東京特電）

◇內相伊勢參拜

床次內相は廿日午前八時三十分東京驛發伊勢大廟參拜の途に就きたり（東京特電）

◇管理局長權限擴張方針

鐵道院は今後各管理局長の權限を擴張し本院の所管事務中の現業關係の者は之を全部管理局に移し本院は主として建設改良に要する事及び行政事務、調査事務等統一的の仕事に限局するの方針にて目下調査中なり（東京特電）

◇森安東領事

事務官會議の爲め出張中なりし森安東領事は廿日朝歸任せり（安東特電）

◇玄米食の風習

復古に就て（二）

渡邊彥氏談

是に由つて之を觀れば吾々が今日白米を常食とする習風の起元は左まで古きものでないことが諒解せらるゝのであるのみならず德川家光公の將軍に就職せられたるは元和九年癸亥の歲なれば大正七年を距ること二百九十六年にて其の退職せられたるは慶安三年庚寅の歲なれば大正七年を距ること二百六十九年である何れにしても

白米常食の習風

は二百六七十年このかたの慣行に過ぎざる譯であつて云はゞ德川時代に馴致せられたる習風が今日の社會を支配する偉大の力となりて居る次第である　翻つて考ふるに明治維新の大業は七百年來の武家政治を王政に復古する大革新を斷行せられたものであつて萬般の事に亘り時機相應の革新を企て之を遂行せられたる結果

今日國運の昌隆

を顯現し次第なれば大正の大御代に於て玄米を一般の常食とする號令を下して國民の覺醒を促すことに致したいものであると思ふ明治の王政復古は七百餘年來の習慣を打破せられたのであるものなれば玄米食の風習復古は單に年代の比較に於ても現在の常習的風儀を革新するは左まで難事にあらざるべしと思ふのである

しかのみならず

玄米を一般の常食とする風俗を復古することは種々の點に於て多大の利益がある故に世人が其の利益の存する所を徹底的に理解することは勸めずして玄米食は一般に行はるゝに相違ないと思はれるそこで玄米食と白米食との損得論を始むるに先だちて朝鮮に於ける米の産額のことより說を立てようと思ふ

大正五年の調に

よれば米の産額は千二百四十三萬八十四石あるが之を常食用として供給する分量は八百七十萬千百九十八石八斗である！てみれば三百七十二萬九千八十五石二斗は勞費をかけて粉糠となし米として供給せぬ割合である

◎渤海灣の各港

大東港連山灣

渤海沿岸は主として遠淺なる上に河黃河欒河京河其他多數河川より吐出する泥土の爲め年々埋沒するを以て民船碇泊地として連山灣秦皇島芝罘の敗港にすぎずして唯一の不凍港として連山灣の存在するは最も注目すべき現象にして將來渤海の商業交通上重要の地位を占むべく殊に新に契約されたる

▲滿蒙五鐵道の一たる洮南熱河線の一地點より遼港に達する一線を敷設さるゝ場合に於ては恐らく連山灣以外適當の地點なかるべし現在に於ける芝罘は山東地方に對する雜貨の輸入及び山東農産の輸出港としての地位を維持するも元來渤海岸に對する仲繼港として天津及び營口に對する各期間の輸入港としても最も善く利用されたるものなるも近來

▲大連港の發達により營口に對する商權を又秦皇島及び青島により天津方面に對する輸入を失ひ現在に於ては稍年の餘力により存在するに過ぎず斯の如き理由あるにより芝罘の上海に對する地位は徐々低下の一方なり然らば遼河の水運を控ゆる營口は如何といふにこれ亦南滿線の發達と最近に於ては四鄭線の開通により一層

▲遼河水運の衰微を來し民船による輸入港となり遼河地方に對して連山灣の發達に伴ひ其の勢力を侵略さるゝを以て營口の將來は頗る悲觀すべきものあるべし白河の結氷期間其輸出港たる地位を占る秦皇島は如何といふに其位置は連山灣よりも京津に近しと雖も海港の狀態は到底連山灣に及ぶこと能はざるのみならず連山灣の設備にして完成せんか天津に對する

▲秦皇島の地位は遽に連山灣に移動すべきやに想像さる果して然らば連山灣は渤海に於ける唯一の不凍港最良の港灣として地位を占め殊に洮熱線より支線の聯絡するに於いては同地の輸出入は激甚及び蒙古貿易の呑吐港とし又一方京津方面に關する冬期の呑吐港として利用さるゝに至り非常に重要の地位を占むるに至るべし且つ奉天より連山灣に至るには

▲大連より六十哩近距離たる特長あり旁大連の競走地たるに至る無きを保せず蓋し奉天以北の貨物が滿鐵線により大連に輸送さるゝ手數と奉天より京奉線により連山灣に至り更に海外に若しくば支那に輸出さる手數との間には甚だしき差あり僅に大連輸入品の營口を經て遼陽及び鐵嶺に入るものに對する影響にすぎざるべし

▲天津對大連貿易　却つて連山灣經由のため大連を仕出地とするもの增加し姉妹港たる觀を呈するに至るべきが如しされば、これ連山灣が日本又は支那の經濟的勢力圏內にある場合のことにして若し之を諸外國の勢力圏內に移りたりとせば大連の競爭地として恐るべきものあり故に日本が滿蒙に對する經濟的勢力の徹底的確立を期待するに於ては連山灣及び洮熱線より分岐する鐵道の敷設は最も重大なる問題と考慮せざるべからざるものなり

◎齊多信託組織

一時危險に瀕したるチタ在留邦人中避難せざる者八十八名に達したるが今回此等殘留者に依り記念として廿萬留の資本を以て信託會社を組織され近く營業の運びに至る可く船橋民會長は同會社の用件を帶びて近く哈爾賓に赴き物資の輸入をなす由

◎元山と藥草

元山に於ては例年秋季に入ると共に奧地より相當の藥草を見つゝありし天然性諸種の藥草は本年は著しく減退を示し爲めに鮮人側仲買者は頗る閑散を呈しつゝある狀態の由にてこれが原因は主として奧地鮮人側の懷合豐かとなり同品の採集者の減退せしに因るもの也と（元山）

◎白雲莊觀楓會

北門內白雲洞の津田鍛雄氏は二十日正午より自邸白雲莊に於て觀楓會を催したるが森安博士兒島總務總長鈴木長官人見局長久水課長其他十數氏招待し頗る盛況なりき

◎山根氏動靜

過般來入京中なりし代議士山根正次氏は二十一日朝京城を發し大邱に一泊の上直ちに東上すべく來春匆々再び來鮮すべしと

人事消息

▲多木粂次郎氏（多木製肥所主）二十日夜入京朝鮮ホテル

▲東大理科大學教授理學博士小藤文次郎氏　二十日夜入京天眞樓へ投宿せり

◇鳥瞰雜想

▲米國の共和黨は五十名の女幹事を置いて居る▲一體米國では個々の女の參政案の成敗如何に拘らず女の政治的勢力は侮るべからざる氣勢がある▲一體米國の女權の強大なのは移民時代の女不足に濫觴して居ると云ふ說を事とすれば戰爭の結果女子の過剩を來し▲今や反對の現象が起りつゝあるから女權運動の將來は未だ樂觀を許されぬ▲獨逸の平和騷ぎも何だか本腰にならぬ相だ伯林の眞中央ウンテルデンリンデン街の皇居の前で暴行などが始まつたらしい▲銅像なども打ち毀されたとの事だが御自慢のフリードリッヒ大王の像なども[illegible]▲米國大統領からは急所をグイノーと突かれた國民からは散々に小突廻されんとした獨帝は神經衰弱で唸り出した▲ホーヘンツオルレン家の影も薄くなつて來る▲大奈翁がセントヘレナの煩悶を獨帝は最う伯林の眞中央でやつて御座るのだ▲蠻的の生殘は病める獨帝を取り卷いてワイノーノー騷いで居る事だらう▲道理が通れば無理が引つ込むは東西何處でも同じ事だ獨帝も今更誰をうらまう樣もないから自分で蒔いた種は自分で刈らねばならぬ▲此頃の實業界の人物登用條件には鳥渡奇拔なのを能く見受ける▲今度某銀行が東大法科から四十名の新學士を採用するに就て其の條件に曰く▲容貌風采普通以上但し眞摯付の事とあるなどは之も御多聞に漏れぬ處だ▲之から好男子でなければ鳥渡出世が出來にくゝなるのかナ

◎産業權法特徴

試みむとするもの、如く特許局に於て立案し目下諮問すべき方面に諮問し居れる趣なるが法案は[illegible]特點とすべき點は輸出權の設定を始め輸入發明及び企業權の三者を新に添加せむとする事是なり輸出[illegible]る外國の發明品を輸入したる場合その輸入者の利益を保護せむとするもの又企業權には[illegible]

[illegible]時代に假契約成立し其後日支兩國の內閣更迭等のため未だ正式調印[illegible]其實質に於ては日支兩國製鐵事業に根本的革新を齎さんとする重[illegible]し來るものと認めざる可からず結局歲月の推移と共に益々具體化[illegible]

▲製鐵官營　[illegible]らすとせば其最も重大なる影響を蒙る我國は今より充分之が對[illegible]支那側共通の利益の爲め[illegible]打つべきかと云ふ

◎藤公の墓に

今六日の參拜

[illegible]

◎解剖祭

京城醫學專門學校にては二十一日午後三時より大和町三丁目墓地に於て例年の[illegible]

[illegible]の如き早朝降雨ありし爲め日中も寒暖計六十度以上に上らず十九日は早朝降霜を見又井戶端の水の凍りたるを見たり[illegible]

法人登記公告

鳥山金融組合登記事項中一口ノ金額金拾圓ニ付出資一口ノ金額ヲ追加ス
右大正七年拾月拾六日登記ス
京城地方法院水原支廳

商業登記

株式會社朝鮮殖産銀行支店登記更正
錯誤ニ因リ全羅南道光州郡光州面北門通參拾[illegible]番地ノ甲ノ支店所在地ヲ左ノ如ク更正ス
[illegible]
右大正七年拾月拾八日登記
京城地方法院開城支廳

法人登記

[illegible]
右大正七年拾月拾五日登記
京城地方法院平康出張所

羽二重斜子御紋付
仙臺　藤崎呉服店
流行新柄　セル御袴
▲見本進呈
振替口座東京一七一九〇番

洋鐵鋼材料
バルブ工具品類
鑛山用品
一般工業用品
瓦斯管
商況報告一報次第送呈
カナエパッキング會社代理店
京城南大門通一丁目
合資會社南方商店
電話長一六八九　[illegible]
振替[illegible]

[illegible]千葉[illegible]商會

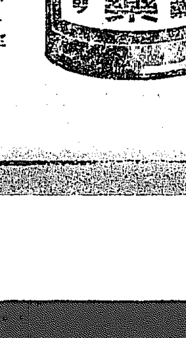
百萬圓でも

君の強健な其胃の腑を百萬圓出すから、僕に賣つてくれ給へ———と言はれた處で是ればっかりは出來ない相談。

ケレドモ

茲に良法あり

金貳拾錢を投じてホシ胃腸藥を求め常に服用試みられよ。如何なる胃腸の患も直に治つて百萬圓でも買へない、強健な胃腸に忽ちなれる。



主効
▽消化不良 ▽食もたれ ▽溜飲吐瀉 ▽飲過食過 ▽胃腸カタル ▽惡醉宿醉 ▽惡心胸痞 ▽胃弱胃痛

定價 五十錢 壹圓 試用廿錢

資本金五百萬圓

ホシ胃腸藥

各地藥店及特約店にあり

星製藥株式會社
東京京橋區南傳馬町三丁目

……しむべく在來の缺陥を補調し又……それ〴〵改廢を加へ……意匠標實用で開拓者の利益を保護せしむると共に進んで新企業を……新案等亦同樣なるが新法案中最も……もの輸入發明權とは禁止せられざ……

◎日支製鐵借款

▲重大の意義　寺内内閣は……んとするものにして其形式に於て……は勿論經濟借款たるを失はずと雖も……殊の外來的事情の突發せざる限り……に聯鎖借款方針の實現避け得べか……始せられ結局其實現を見るに至る……報告を爲す可しと（東京特電）

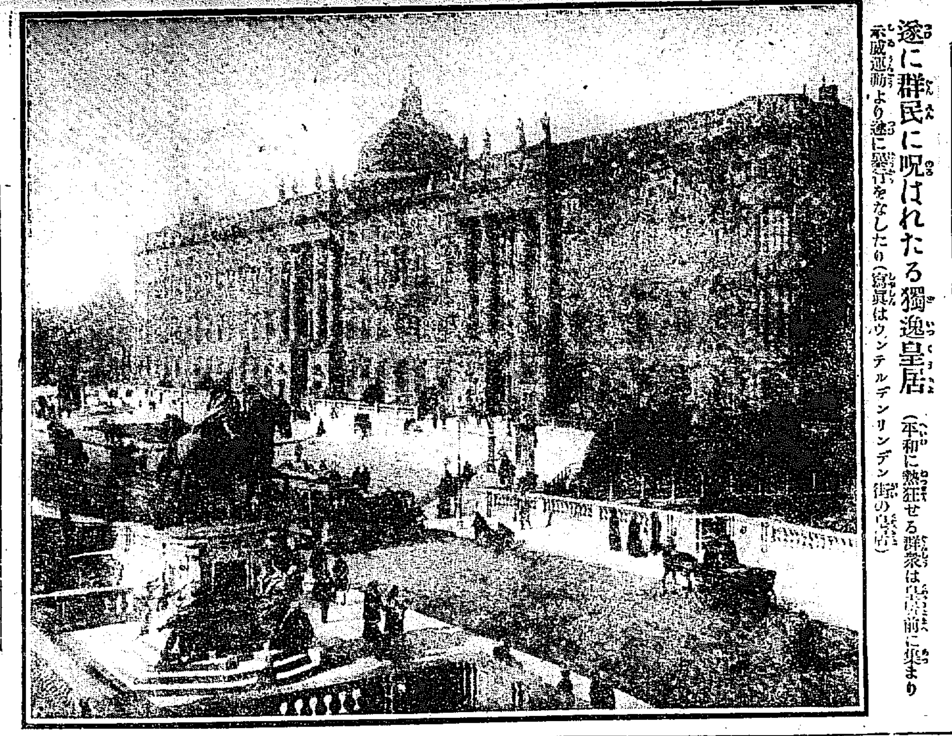
……故伊藤公の墓に參拜し内閣組織の……

◎大田の初氷

大田地方は十八日より寒氣逝に増し十八日……

從軍寫眞畫報

從軍記者　金谷眞　撮影



遂に群民に呪はれたる獨逸皇居（平和に熱狂せる群衆は皇居前に集まり示威運動より遂に暴行をなしたり（寫眞はウンテルデンリンデン街の皇居）

◎簞食壺漿して

皇軍を迎へるチタ市民

物騷だつた過激派跳梁當時

少し寂しい街になると拳銃なしでは到底歩けなかつた

從軍記者　早川磐溪

第三師團司令部がアレキサンドリヤ街に巍然として聳ゆるフトロワの屋上に日章旗を掲てからはチタの市民は簞食壺漿して我軍を迎へ

▽軍隊の要求 に對しては家屋も提供する、物資も供給する、我々が市中を歩いて居ても、從軍腕章を指してドクターかと尋ね、從軍記者だと答へると、あー從軍記者か御苦勞と握手し、別れる時は『左樣なら又御目に懸ります』と愛嬌を振り撒く、路上の子供は、統領セミヨノフ、統領チエックなどと言ふ名を着けて鐵砲を擔いだり、戰ごつこをして居るが我々を見ると『ヤポンスキー』と言つて集まつて來てはからかつて貰ひたがる男も女も

▽大人も小兒 も我々の眼に映ずる露西亞人は皆親はしく、人は善さうに見ゆる、就中チタ市内何處へ行つても姿を見ない事のないセミヨノフ配下の軍人は日本人と見ると極めて親切で、一寸位の處ならばわざ〳〵案内して見れる一寸顏馴染になると頻りに握手を求め路上笑顏を作つて會釋し合ふ處などは土地が土地だけに泣たくなる程嬉しい感じがする、彼等露西亞人の話に依ると過激派の本部は今の三師團司令部にあつて三階のバルコニーから

▽市街に向けて 機關銃がニューッと突出てゐた市内各所には秩序も節制もない赤衛軍が跳梁して盛んに掠奪をする、市内有數の商店は瞬く間に商品を沒收されて閉店するものが多く一流の建物は無頼の徒が占領する、市中は全く暗黑となつて、他地方に避難する者が尠くなかつたが、我出兵說が傳はつてからと言ふものは流石兇惡な過激派も漸く旗色惡くなり或は逃げ或は服を着替へて姿を晦まし了つたのでやつと平穩になつたのだと併し我軍のチタ入市前までは夜になると

▽鐵砲の彈丸 が頭の上を掠めたり赤白軍や青白軍の將校が暗殺されたりしたので、活動寫眞館やカフエーで賑ふアレキサンドリヤ街の一部だけは相當に人出もあつたが少し寂しい町になると拳銃を握つて步かねば步けなかつた、その物騷な不安なチタ市に日章旗が翻つてからと言ふものは市民も枕を高くして寢る事が可能、物資もだん〳〵増加するので、彼等の頭には日本の出兵が實質上露國民救濟にある事を深く印象して居るらしい。

◎人夫大格鬪

平南寺洞の椿事　負傷者夥し

十六日の夜平南寺洞に於て重傷者數名を出したる土方喧嘩あり未だ其の詳細は詳かならざるも十六日の夜

▲間組人夫 趙祥日なる者中村組人夫金賢永と飲酒の末爭論を始め果ては格鬪をなして逃歸り中村組の人夫より毆打せられたる故皆加勢せよと仲間の土方に告げたれば約二三十名の土方は手に〳〵棍棒を携へ

▲それ復讐 だと更けて翌十七日の午前二時頃中村組人夫小屋に押しかけ戸口を押し破り室内に侵入し手當り次第暴行を加へ尚も附近の鮮人家屋を襲ふて中村組の人夫は居らぬかと探し廻り一時は如何なる椿事に成り行くやも計られざる形勢なりしが寺洞駐在所より警官出張して極力

▲鎭撫に努め 加害者たる間組の土方林用奎（三〇）金永洙（三〇）李得煥（三二）金天玉（二七）趙祥日（三〇）及び西村榮三郎（三〇）外十數名を取り押へ漸く鎭靜せり負傷者十數名の内劉景錫、崔吉鉉、盧承西の三名は

▲頗る重傷 にて平壤慈惠醫院に入院させ全治迄には數週間を要すべく一時は非常の騷ぎなりしと

◎ニコラス大公

死刑の宣告を受く

露國よりの無線電信に據ればニコラス大公は死刑の宣告を受けたり（巴里電報）

◎流行感冒全鮮を襲ふ

市内許りでも夥しい患者

一家全滅した家もある!!

京城市内の流行性感冒は其後益々蔓延し今や殆んど全市を脅かさんとして居れるが聞く處によれば是は單に京城のみならず非常なる勢ひを以て全鮮に蔓延しつゝありと云ふ市内に於ては警官講習所、京城監獄、郵便局等最も多數の患者を出し各學校にありてもこれが爲め近來多數の缺席者あり道德高等普通學校の如き教員生徒共に半數以上倒れ尚益々蔓延の兆あり場合によりては終に休校の餘儀なきに至るやも知れずと云ふ三越、明治屋等の大商店も亦店員中多數の罹病者を出し某商店の如きは主人を初め小僧下女に至るまで枕を列べて臥床するなど悲慘を極め全市の人心恟々たり

▼恐しい餘病を併發する　傳染力は速い

右につき某醫師は語つて曰く『流行性感冒の病原は千八百九十二年にプァイ、フエルの手に依つて發見せられたものであるがその當時は、全地球上の人類が全滅するかと思はれる程流行したものである その後數十年間は

◇全く中絶 して居て聲を知る位であつた、我國では明治廿三年の夏から大流行で廿五年の終り頃には非常な勢ひで蔓延し爾來常に春秋の候に於てこの病氣にかゝる者が多い傳染力は猛く稍遲く主として

◇空氣傳染 で發病するまでに數時間位しか懸らぬ豫防法としては全く無いと云つて好い位で少し風邪の氣味でもあり、身體の衰弱して居る時は直にやられる そして早くて一週間長いのは二週間も苦るしまねばならぬ此病氣は

◇生命に拘 はるやうな事は決して無いが肺炎その他の恐るべき餘病を併發する事があるから用心せねばならぬ』

◎無線電話大成功

双方から話せる樣になつた

伊獨などの間の無線電話は先頃來通話上に稍々研究を重ねつゝありしが今回一大進步を來したりと云ふ右に就き專門家は語つて曰く『之までは通話せんとしても有線電話の如く電鈴で呼出すと云ふ事が出來なかつたので絕へず受話器を耳に當て、注意して居らねばならなかつたが研究苦心の結果電鈴で呼出し得るやうになつたのは一大進步であると謂はなければならぬ又從前は双方から通話が出來ず一方の話を聽いた上返答しやうとするには一度電流を發しなければならぬと云ふやうなことで面白くなかつたが今度は双方から話が出來るやうになつたのである』

◎西伯利軍の防寒服

六十度の酷寒も恐るゝに足らぬ

西伯利出征部隊の防寒服は一名分の重量二貫六百六十八匁あつて被服より靴に至るまで悉く羊又は山羊の毛裏付である之を普通軍服の上に纏ひ靴も普通軍靴の上に穿つものなれば零點以下六十度の酷寒と雖も決して恐るゝに足らぬ出征軍隊の酷寒と闘ふを苦慮して絹綿等を送るものがあるが右のやうな次第だから酷寒の心配は一切無用であるこの事防寒服の内容は

▲胴着八百目▲同袖三百二十目▲同外套袖口六十目▲毛メリヤス襦袢二百目▲同袴下百七十目▲覆面二十五目▲鼻覆三匁▲手套二十五匁▲大手袋百十五匁▲靴下三十八匁▲靴四百目▲靴底（敷皮）十二匁▲半袴四百目

◎染料になる草木

全國で七十三種餘發見

時局以來此方面の研究者が殖えて

從來餘り世人の顧みなかつた林野産物中の草木で染料に供せらるべきものが少くない殊に時局以來此方面の研究を爲すもの隨時增加し著しく增進して來たので農商務省では過般來全國各府縣及び各大林區署の技師をして染料に供する草木並に其利用せる地方を調査せしめたる結果總て七十三種の草木より染料を得るもの六十一種草で

▲染料に供せ られつゝあるもの十二種を發見した右に就き專門家は語る『我國に於ける暖溫帶の山野には到る處に自生する常綠樹木の赤松の葉からは絲を染る暗褐色の染料が採れ黑松の葉から黑褐色の染料が採れる現に香川縣の某會社にては此生葉十貫目に硫黄三貫三百匁と硫化曹達十貫目に水若干を加へ約五時間之を熱して染料を作り盛んに販賣して居る又本州、四國、九州、北海道、朝鮮等の

▲溫帶地方の 山野に自生する檞の樹皮を煎じた汁は漁網染料となる外麻、綿等のカーキ色染料となるし栗の樹皮を乾燥し其煎汁に硫酸銅を加へて……具等の染料とし葉や樹皮の煎汁で又黑色染料や紫絲……紋付の……染……として又漁網の染料となるべく……の果實は……煎じて……料や器具……飾品の塗料となり……葉は九月下旬に

▲採集し醱酵 させたるを煮出して黑褐色や濃綠色の染料が出來る又種の紅肉を食用として賞味される玄石榴の樹皮を煎じて皮革を染め椎も網の染料となるのを始めとして山茶の葉は燒きて染色用として生葉を搾つて青汁を採り下等の蚊帳を染るし厚皮香の樹皮

◇大懸賞社告◇

懸賞金百五拾圓也　投稿締切 十月二十日

- 論文（宴會改良に就て）（五十字詰二百行以內）一等十五圓　二等七圓二人　三等四圓三人　社內選
- 漢詩（秋懐）七言律（四韻）七言絶句　一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　京都 高野竹園先生選
- 俳句（初冬）（しぐれ）一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　目池選
- 川柳（記念）一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　東京 井上劍花坊選
- 和歌（冬の朝）（落葉）一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　東京 尾上柴舟先生選
- 小品文（隨意）一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　社內選
- 短篇小說（隨意）（十五字詰二百行以內）一等十圓　二等五圓二人　三等三圓三人　社內選
- 情歌（寒）（小春）一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　東京 平松天籟選
- 一口噺（隨意）一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　社內選
- 寫眞（晩秋）一等三圓　二等一圓二人　三等一圓三人　社內選

以上の作物は一人全部應募は自由なるも漢詩、俳句、和歌、情歌一口噺は一人各三作以內小品文は二作迄、短篇小說及論文は各人各一作に限り寫眞一人二枚以內とす

應募原稿には表封に必ず懸賞募集原稿と朱書せられたし發表は十一月上旬時日は追て發表す入選以外のものも佳作は選外佳作として京城日報紙上に揭載す賞金は發表と同時に送附す

締切は十月二十日の日附印ある者迄

京城日報社

サッポロビール（第二回懸賞廣告意匠懸賞圖案第三等入選）

京城大島町十四番地　圖案者　藤野秀雄氏

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

定價　壹瓶　金壹圓七拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大　健胃補血興奮作用卓絶

本品は山梨縣宮崎葡萄酒醸造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に攝取する變ひなく規那、鐵及び葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不良、慢性の發熱並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並に病後の衰弱一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

▼如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くて何となく胃腸が弱い人
一、無病の人も常に胃腸が弱く感冒に罹り易い人
一、産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色が蒼く肉痩せ活潑ならぬ人
一、腺病質の人即ち瘰癧に罹つて居る人
一、頭痛が激しく痩せ咳嗽や痰が多く出る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、蒼白な病身で居る人
一、肺結核や腸結核、肋膜炎、其他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に惱されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心の病に惱されて居る人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits. Nervous debility. Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尚新活力を賦與し得べき

◎ミツワ人參葡萄酒

定價　壹瓶　金壹圓八拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ

風味高潔滋養豐富　元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絶なりと認められたる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芬芳にして清爽、其の味は甘美にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、營養の作用を良好に身體の强壯を爲し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、倫體に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は溫湯の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料ミツワ人參葡萄酒を用ふべし

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增進したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を得たい人
一、精神の疲勞を早く回復したい人
一、不快な感覺を除きたい人
一、食慾を進ませたい人
一、精神を良くしたい人
一、體力を良くしたい人
一、精力を……
一、貧血して居る人
一、手足や腰膝が冷えて寢つかれぬ人
一、……

中村時章儀永々病氣之處養生不相叶二十日午前六時四十分死去致候間此段前辱知諸彦ニ謹告仕候

追テ葬式ハ途中葬列ヲ廢シ明二十一日午後四時ヨリ大和町東本願寺ニ於テ相營ミ可申候

大正七年十一月二十日　京城本町四丁目百五十五番

嗣子　中村章一
弟　中村彰
同　山本三郎
親族總代　齊藤一太
同　大久保雅彦
友人總代　稲崎東陽
同　瀧本……

◎濁酒賣出し　龍山停車場前　電話三〇三　丸二酒場

年金恩給　低利長期融通　四年半迄保險不要　▲京城永樂町一丁目商品陳列館前下角　江州屋本店

◎店員に女事務員　十五六歳より廿五六歳までの者至急入用本人來談又は履歷書送れ　平壤旭町一丁目　洋服店　電話長二七番

◎女中入用　京城南大門外　電話三二六番　齋藤商店

家事取締 兼家庭教師 雇入たし但婦人　獨身者に限り年齢卅歳以上月給卅圓内外　京城南大門外　電話三二六番　齋藤商店

貸家 間數八間 ……湯殿付 ……二十五圓 ……希望者至急電話八〇六へ問合アレ

◎藥店讓る　御希望の方は京城永樂町二丁目七十三番地　倉橋へ

社醫招聘 事業擴張ニ付醫員數名募集ス希望ノ方ハ履歷書至急送付アレ　京城黄金町二ノ九六　日清生命保險會社朝鮮支社

◎女子募集 內地人三十歳迄　履歷書携帯庶務掛にて承合すべし　龍山　總督府印刷所

▲四號金庫賣物　黄金町三丁目　電一四〇七番　古物市場

簿記生徒募集　京城長沙洞觀水橋北詰東入　松岳堂　範記講習所

看護婦及見習看護婦至急採用　希望者は本人直接來談ありたし　京城旭町一丁目　電話二七三六番　嶋崎病院

倉人募集 日鮮人を問はず經驗あるもの年齢廿以上　右希望者は本人來談又は履歷書送れ　黄金町　齋藤酒造會社

代診生及藥局生至急募集　志望者は本人左記へ申込まれたし　姓名　京日仁川支局

京日案内　普通一回前金七拾錢　番外一回前金……　▲申込中途撤廢中止の節は料金不返戻　▲六回以上の御申込は特に割引す　▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

妻の心 (百廿六)

二十の三　小林蹊月作・武内桂舟畫

『久さん、貴郎は到頭妾の娘を殺してお了ひだね。さツ、も、も、も一度昔の通りに活かしてお返し。』

喜久子は、壁を叩いて、口から泡を飛ばしながら義歯をぎりぎりと噛み鳴らすのであつた。久三郎の頭は今、それどころではないが、默つて彼方を向いて居る譯にもゆかない。

『いや、阿母さま、禮子が斯うなつて見ますと、實に貴女の御心中をお察し致します。私としてはもう何と被仰られても致し方ないので、今更過去を悔悟致すより外は御座いません。』

『只後悔致しましたで事が濟みますか？元來此の町川家と縁を絶つて谷塚の姓に歸つた貴郎が、誰の許可を得て、娘の病床へなど闖入したんです。貴郎が餘計な所へ現はれて來たればこそ、彼の物堅い善人の順さんまでが腹を立つて、柔銃なんか發つやうな事が出來したんぢやありませんか。娘が急に模樣が變つて、這麼事になつて了つたのも、乾度先刻の銃音に、神經が惱かされた爲めに違ひありません。手もなく貴郎が手を下して娘を殺したと同樣ですよ。さア、娘を舊の通に活かして……。』と、喜久子は、相も變らぬ頑迷一轍の惡罵調である。

『阿母さま、何ほ何でも、それや御無理と云ふもんではありませんか。すべての罪は、私にあると信じて、禮子にも今懇々懺悔の眞情を會得さした所ですが、絶命した者を舊のやうにと被仰つても、私は神でもなければ、魔法使でもありません。』

『いゝえ、承知なりまん。貴郎の爲めに妾は母子一生の別れにさへ顔を合はす間がなかつたではありませんか。そりや、貴郎一個としては、是から先甚麼立派な所へでも婿さんに行くなり、一家を興すなり好きな眞似の出來る身體ですから、禮子なんかは、反つて死んで了つた方が、綺麗淡泊で好いでせうが、妾には……此の町川家には、掛替のない家付の娘ですよ。大切の大切の一人娘ですよ。此の子が死んだ以上は、もう町川の系統は斷絶して了つたんですよ。』

『そりや阿母さま、被仰らんでも分つてるですが、人生の運命ばかりは、什うも……。』

『戯談を被仰い。運命や天罰で死んだのとは違ひます。有らん限りの殘酷な目に遭はして、無理矢理に貴郎が娘を殺したんではありませんか。何でも關はないから、も一度昔の通りに活かして下さい。』

喜久子は、老人の膝に、もう死骸の枕頭で、久三郎の胸倉へ武者振か、つたのである。久三郎も固より自身の罪は、自覺しきつて居るのであつたが、喜久子の無法な言分を聞いては、流石に勃如きざるを得ない。實を云へば、今まで禮子との平和が保ち得られずに、放蕩三昧に身を持ち崩して來たのも、裏面に此の喜久子と云ふ強張の片意地の頑固婆アが付いて居たからの事で、………それが必ずしも全部の理由とは云へないまでも少くとも有力なる半面の理由であつたに違ひなかつた。と、同時に又禮子を彼のやうな陰慘極まつた生た幽靈にならせて了つたのも、何方かと云へば、喜久子の家庭的觀念が、餘りに舊式な自分勝手に過ぎた結果ではないか。今更自分一人のみを責立つて、禮子を舊の通り活かして返せと云つたて、何と返答の爲ようがあるものでせう？

『阿母さま、靜かになさい。死體もまだ冷ひきらんのに、此處で貴女と私とで、掴み合を爲る譯にはゆかんですよ。貴女が然う沒分曉を被仰るなら、私も多少云はねばなりませんが、貴女は元來彼の櫻井君を餘りに信用なさり過ぎたからこそ、禮子も終に這麼悲慘な臨期を遂ぐるに至つたのです。禮子と櫻井君とは、骨肉の從兄妹とは云へ、性質に於ては、雲泥の相違です。櫻井順吉郎と云ふ男は彼りや、强盗以上の大惡漢ですぞ。』

『なツ、何ですと久さん、貴郎は順さんから今方、柔銃を向けられた腹立まぎれ、故意とそんな事を云ふんでせう。』

『然うではありません。大惡漢だから大惡漢と云ふんです。貴女は何事も知らぬが佛で、信じ込んだお眼からは、勤勉着實な壯い似合はん親切心の深い男とお見ねになつて居るでせうが、貴女があの櫻井君の手を經て、商業銀行へお預けになつた隱居面の公債株券など、は、只の一枚だつて今日では銀行に保管されては居らんのですよ。』と久三郎は、手强く大膽に云ひきつて、悲をさばかり喜久子が歎きの顔を覗入つた。

□別府といふ處(二)

山崎生

地域の廣大はこれをもつて見るべく大別府の建設は期して待つべきであるが、未だなつて居ないことも確かで、數へ並べて見れば行くとして見るとして温泉ならざるものはないわけだが、事實はまだ謂ふ石垣原の古戰場で松樫の常綠林や、楢、はぜやの落葉樹林やが背目おしに並んだもので新道の方に蛇が這ひ出てゐるといふのです。新道と强て云つたのには譯があるので、新道つてのが、例の無謀な積極政策で、やりはやつたが始末のつかぬ奴なので、結局草が深いから蛇が、人通の多い、明るい新道より、名ばかり新道である道の方へ出るといふのです。然も、それが別府町民に輕からぬ負擔をなしてる市區改正とやら、都市計畫とやらに因してることの事を聞いては寧ろ憫笑の至りです、それより海地獄の溢水を引いて新別府が出來始まつた樣に、廣さ三十坪、深さ四百尺餘とやらで一時間に溢出する湯の量が無慮何百石とかいふ結構な酸性泉を海地獄からは尚ほ下の野原一帶に引く事も出來るではないか。自分で出來なければ、そこらにごろごろして居る成金に引かせたらよいではないか。それがまた例の都市計畫で早く成金の欲し相な處に四角四面に道をつけて區劃整理を斷ち切つて仕舞つた何しろ解らない話で、成金とあらうものが決して別莊だといふのに四角な土地を喜び相な事がない。兎角丸いのがすきでね。處へもつて來てこんなに豐富な温泉を、何故か町の人が見れしぶつて、何だかんだでやれ金を出せ、それ出せなので成金が、どうやら逃足だつて來た樣で(退しいもので)今が味い機なのに、所謂女の前額の毛で後をむいたら駄目なのにと思はれるのです。便利ゆい、別府ーほんとにこれも左樣なのです。門司から二時間ごとに汽車が著く大阪神戸から中國四國をかけて每日船は這入る、大商の人氣著くれいなる[illegible]の如きは子供らしい樂隊入でやつて來る、波靜かな瀬戸内海をおしきつてやがては赤い三角帆の快走船も來やうといふもの、それに近く九州を横斷して長崎線と連絡しやうといふ別府、それはやがて日本の別府處でなく實に世界の、別府にもう一足である。

牛肉は深堀本店へ
京城旭町一丁目
電話一五一九番

新刊紹介(到著順)

▲新日本(十月號) 論說に說苑に大安の執筆せる有益なる記事多く趣味の方面に於ても精選せる材料を蒐めて豐富に掲げたり(三十錢東京下谷五七丹[illegible])

▲課外讀本(十月の卷) 彌生三四五六年の各卷何れも兒童に對し有益な趣味なる物語を多數に載せたる美しき讀物にて子供のある家への贈り物として最も適せり(二十錢東京博文館)

▲柔道(四の一〇) 柔道の修養者に告ぐ(嘉納治五郎) 胃の腑と食料(中島醫師教授) 柔道に關する有益なる教訓の練習教授 山下永岡兩七段、村上高兩五段、金光磯貝兩四段その他執筆界の消息等なり(二十錢東京小石川大塚坂下一一四柔道會本部)

▲地方行政(食糧問題號) 三十錢東京麹町帝國地方行政會)

▲時事年鑑(時事新報) 統計年鑑非他諸官衙銀行會社の諸統計報告中より一般人士に興味あり且つ一般人士の知らざるべからざる事項を摘錄し西洋諸國にて發行さるゝ類書の長を採り成るべく其要を缺かず類書の陷るゝ弊を避けんとし事務家の參考書たると同時に個人の商家庭の婦人に利用されんことを希ひ地理歷史諸科學衛生等の智識なり殺し專門家には其專業外に聞かな好參考書ならしめ一般人士には常識を涵養するに適せり本文約九百頁、內容を力めて充實せしむる爲紙面に空白を留めず、本附錄に地圖を添ゆ(一圓六十錢、東京時事新報社)

牛乳御用 岡野牧場
京城東四軒町
電話一〇六九番

▲歷史自習辭典(第一編) 國史の部として刊行せられたるもの卷末に、皇室御系譜、親王家御系譜、諸家系譜、歷朝一覽、官職一覽、武家職司表、特別保護古建築物一覽表を掲げあり殊に本文の歷史辭解は獨習者の便利此上もなからん(一圓三十錢、京都上京區寺町通二條南入 若林春和堂)

▲英字新聞讀破自在 赤司繁太郎著 普通英字新聞雜誌を讀むに中學三年の學力あらば立派に讀破し得べしていふ著者の意見にしてソハ新聞用語及び最新俗語、成語等を解せば決して不可能に非ずといへる自信を以て幾多の興味ある實例を掲げて之れ指示し有益なる書なり(一圓三十錢、越文館)

▲講談倶樂部(十一月號) 內容充實し數十篇の小說、講談其他大家の作に成るもの多く面白きこと限りなし(四十錢、東京市本鄕區駒込坂下町四八講談社)

▲少女(七ノ一一) 美麗なる少女向きの雜誌にして插畫も澤山あり御伽小說、少女小說、少女物語、歷史小說、探偵奇譚、冒險小說、少女歌劇其他面白き記事多し(二十錢、東京時事新報社)

▲少年(一八二) 口繪其他美しく讀み物に壯快なるもの或は歷史理科戰爭手工其他面白き記事多く附錄に新案切抜活動人形を添ゆ(二十錢、東京京橋南鍋町二の一二時事新報社)

▲寫眞少年(一の二) 少年向きの時事寫眞、寫眞物語及び讀み物何れも嶄新にして面白し(二十錢、東京淀橋柏木一二八東光閣)

◎講和期漸く近し

大隈侯爵の談

るは現在の武力を擁し名譽を保持しつつ講和せんとするの趣旨なるべく獨逸をよりせば[illegible]して存在せん殊に獨逸皇帝は廿五年間口に世界の平和を唱導し其間[illegible]に汲々として遂に今日の[illegible]壞するの含蓄だ切なるを感ぜん米國大統領は民主にあらざれば恒久の平和期すべからずとなし獨逸の

▲革命の機運 到る處に踞りヒンデンブルグは辭職し軍閥派の勢威失墜して新內閣は非[illegible]の內閣は茲に顚覆されたるを證す可[illegible]

▲帝室內閣は 國務の衝に當りその責任を負荷し獨逸皇帝[illegible]あらざる平即ち獨逸の現狀は

▲米國大統領 の提言に聞き講和せんとするものにして米に對し聯合國は如何なる態度に出でんとするか是又注目すべし

七日のんだら きゝめがわかる
婦人靈藥 惠命湯(けいめいとう)

子宮病こしけ血の道ヒステリー産前産後と月經不順を見事に治す

惠命湯は美味にして佳香あり血の巡りを能くし冷へ性を溫め恐る可きこしけ婦人病を見事に治す不思議の藥也 子宮病は內膜炎外膜炎實質炎周圍炎喇叭管炎月經痛月經不順卵巢炎膣炎加答兒陰部痒く陰門の腫血の道ヒステリー憂鬱症不眠症心悸亢進健忘症下腹腫塊足腰の冷込下腹腰痛浮腫痺れ胸先き込み疝氣寸白下腹膨滿又白帶下赤帶下と稱し局部より惡臭ある色々のこしけが下る子宮が惡いと身体の精分となる血や肉がこしけとなり下る故神經衰弱顏色惡く凝ひ深く物事大儀となり頭痛逆上眩暈耳鳴肩の凝貧血食慾不進疲汗便秘小便繁く又痛む重き惡阻產前產後の故障早產流產の難產其他種々の病狀頻出し年中の病人で性慾衰へ子供は出來ず大性の美人が醜婦となるも病勢進んで命を失ふも皆こしけ子宮病を左程の重病とも思はず油斷した結果である此の如き容態に一つでも思ひ當る婦人は惠命湯を即刻服用し健康なる愉快の身となり男子の愛を一身に引受け家庭圓滿子孫繁榮の子寶を擧ねばならん拾錢の收入印紙貳枚封入して申込ば惠命湯見本藥と子宮病血の道一切こしけの手當產前產後の心得月經不順の治療法其他婦人一代の健康法妊娠法が分り易く委しく書た說明書を藥に添て急送す

惠命湯

營業所 大阪南區堺筋八幡筋北入 東京神田今川小路一の六
日本一專賣 本舖 山口藥院
振替大阪九八一九番 振替東京五六四六番
(三日分四拾錢 七日分八拾錢 容體詳しく申越あれば最新適藥即日送る)

りん病七日藥

日本專賣特許 麻除(りんぢよ) 化學的療治法

麻除は見事に治る奇藥也
主治効能 ●慢性痳病●急性痳病●女子淋濁●膀胱加答兒●睾丸炎●尿道狹搾
永年實驗の信用ある發明品根本的早く治る不思議の藥也物は試し論より證據七日分只一回服用せよ
發賣所 大阪南區堺筋八幡筋北入 東京神田今川小路一の六
專賣 山口藥院
徳用七日分貳圓拾錢 試用三日分壹圓五錢 容態知らせ最新適藥送る

見事に治る

大學目藥
登錄商標
サスガは名藥

最新刊

書名	著者	定價	送料
日本一の時事年鑑		一、五〇	〇〇
故加藤文雅著		定價三、五〇	〇〇
◎日蓮聖人御遺文全集			
增補心理と人生	高島	一、二〇	
憲法講話	美濃部達吉	一、五〇	〇八
生理と病理	糸左近	一、〇〇	一二
修養日々 牛の涎		一、三〇	〇六
新化學講話	田中伴	一、〇〇	〇八
珠算集成	石橋伸吉	一、三〇	〇二
縮刷漱石文集	故夏目漱石	一、〇〇	〇六
日本の語史	伊藤	一、〇〇	〇六
金と銀	谷崎	二、五〇	〇八
覺悟	前田	一、三〇	〇八
ダンテ 神曲		一、六〇	〇八
滑稽お伽旅行	巖川	一、八五	〇八
共同海損論	勝山	一、三〇	〇八

京城本町 大阪屋號

かぜつねに
面白い程よく效く
カキヤピリン
彼是と手遲せぬ樣直ぐ用いられ
本舖 名古屋 荒川長太郎

日本に初めて出來た

一日＝二日＝三日＝と目立つて色が白くなる

美乳

鏡が證據

實際驚きました、美乳を用ひ初めてから一日、二日、三日と目立つて効果が顯れ時に遊はず一週間目には生地から白い美しい膚となる鏡見る毎に自分ながら見惚るゝばかり美しくなる、それですから私は朝夕美乳を缺かさず常用してるます、しかし外出の時には新に出來た美乳の姉妹美容料純白美乳を一滴必ず塗けて水際立つた化粧を喜んでるます。

◎家庭では＝朝夕必ず美乳！
◎外出には＝純白美乳の一滴＝！
◎僅か一瓶で美人となる
試驗はタッタ一週間！

本舖 大學白粉本店 矢野芳香園

ウヅマキ石鹸

この點を自慢して
良品の提供は
江湖に對する本舖の義務
の品質は將來倍々善良を期し愛用各位に酬ひます

本舖 東京 天野[illegible]五郎

『粉刷き化粧には』

先づ下地にクレームレートを引いて、一たん之れを拭き取つた上へ、レート粉おしろいで粉刷きをすれば、至極お手輕で、上品な美しいお化粧が出來ます。＝(これは今專ら流行、三越のお化粧室で實驗されて居ります)＝

樂にお化粧の出來る

レート白粉

本舖 東京 平尾贊平